

なごみ

2025 No.76
慶應義塾大学薬学部KP会



一般社団法人
慶應義塾大学薬学部KP会
KP Alumni Association





「本気」で結婚を目指す

慶應義塾大学薬学部KP会員の

「成婚」をサポートいたします。

To achieve your happy marriage.

慶應義塾大
薬学部KP会 コース

通常登録料
~~33,000円(税込)~~

▶▶ **0円**

受付時に
「なごみを見た」と
お申し付けください。

47年の実績で成婚までサポート

株式会社ブライダルは創業以来47年にわたり、大学同窓会員の皆さまをはじめ、たくさんの方々に成婚に導いてきました。少子化が叫ばれる昨今、当相談所は「幸せな結婚を実現する」という面で社会貢献を目指しています。

特に慶應義塾大学の皆さま向けの「慶應義塾大薬学部KP会コース」は大変人気で、多くの同窓会員様にご利用いただいております。この「『なごみ』を見た」とお問い合わせ時にお申し付けいただいた方は、通常33,000円の登録料を【無料】にてご入会いただけます。本気で結婚を考えているお相手との出会いを求める方は、ぜひお問い合わせください。

定期的に「親御様無料説明会」を開催中です。

47年に渡るノウハウで
お子様との会話の秘訣を
お伝えしています。
HP・フリーコールより
お気軽にご相談ください。

1978年創業



あなたと未来をつくる
Bridal



0120-415-412

営業時間：平日 10:00～20:00 / 土・日・祝 10:00～18:00
定休日：月曜日(祝日は除く)・年末年始

ブライダル 結婚相談

検索

<https://www.bridal-vip.co.jp/>



東京本社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4-2 野村不動産西新宿ビル9F 名古屋本社：〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-7-13 コスモビル9F

KP会ホームページから 会員専用ページへのログイン方法



【パソコンから】



会員番号: なごみ送付封筒の宛名下に記載 10桁
パスワード: 正会員Aは a#0001A
正会員Bは b#0022B
正会員Cは c#0033C

会員番号
会員番号

パスワード
パスワード

ログイン

正会員Aの方へ:
パスワードの変更は
ございません

【スマートフォンから】



【会員ページ】



なごみバックナンバーの閲覧
『同窓会誌なごみ』をクリック

研修会の講義動画の視聴
『春・秋の研修会』をクリック
(期間限定で公開 正会員A・Bのみ)

「なごみ」閲覧手段変更について

現在KP会正会員A、正会員Bには書籍版を送付しWeb閲覧も可能となっております。今後、Web閲覧のみで書籍版は不要という方は、QRコードよりご登録ください。
(Web版の閲覧方法は、カラー口絵参照)

Web版のみとご登録いただいた方には、77号の発行からは、メールにてパスワード等連絡いたします。

登録方法

QRコードを読み取り、登録情報変更フォームの「なごみ77号(2026年発行)からの閲覧方法」欄の「Web閲覧のみにする」にチェックをお願いします。

メールアドレスが変更になった場合にはKP会までご連絡ください。



登録情報変更フォーム

登録情報の変更は、こちらからお願いいたします。
半角カタカナはご使用にならないでください。
※は必須項目です。

勤務先
<input type="text"/>
なごみ77号(2026年発行)からの閲覧方法
<input type="radio"/> Web閲覧のみにする

ご入力いただきました個人情報は、KP会よりご連絡させていただく場合にのみ使用し、その他の目的には一切使用いたしません。

確認

目 次

表紙	「布絵」—魚(メバル)・カニ・エビ 中村晴美(39)	
カラー口絵	会員専用ページへのログイン方法／「なごみ」閲覧手段変更について	
あいさつ	森田KP会新会長、有田KP会名誉会長、高橋KP会前会長	2
研修会	春の研修会：米澤 淳 薬学部教授 秋の研修会：宇野俊介 大学病院専任講師 福 島 塾：開催報告／開催予定	6
KP会星野尚美記念事業	[Ⅰ]奨学金受給者から、[Ⅱ]卒後50年の集い(40回生) [Ⅲ]助成金活動・奨励賞受賞報告、[Ⅳ]支部会活性化事業	11
薬学部だより	昇任の先生ご紹介：松崎潤太郎教授、中澤洋介(69)准教授、今井俊吾(78)准教授 学生海外研修報告：吉田菜桜子(91回生2025卒)、井上真理(91回生2025卒)	19
イベントから	薬学部白衣式、OB・OG懇談会：芳賀勇太(84)	21
会員だより	新谷明美(52)、小金沢かおり(61)、小林真紀(60)、小川芳子(27)	22
学年会報告	25、28、31、32、33、34、36、41、42、44、46、47、35回生	25
支部会報告	同窓会&合同支部会、埼玉東、埼玉西、茨城、栃木、群馬、中野・新宿、 北海道、山形、福島、新潟、都心四区、城東、江東・江戸川・墨田、 港・渋谷、世田谷、大田・品川・目黒、杉並、練馬・豊島、板橋・北、 山梨、長野、関西合同、山口、福岡、佐賀、長崎、沖縄	33
理事会より	代議員名簿、支部長名簿、第9期理事・監事紹介、理事会報告	50
事務局より	維持会費報告、お知らせ	53
変更届		

表紙「布絵」の紹介

中村晴美さんの作品で、布を組み合わせた絵、『布絵』です。お母様が遺された生地で作しているうち、布の色や模様、織にも欲が出て、骨董市等でも古布を集めるようになったとのこと。「大正、昭和の人々の想いが染み込んだ古い着物を、新たな形になってもう一度よみがえらせることができれば」との思いが、作る喜びとなっているそうです。

表紙題字「なごみ」について

「なごみ」は共立薬科大学第3代学長津田恭介先生の筆によるものでなごみ20号(1969年発行)から登場し現在に至っています。

津田恭介先生(1907-1999)：東京帝国大学医学部卒業後、九州大学医学部教授、東京大学薬学部教授を経て、1967年4月から1984年3月まで共立薬科大学学長。テトロドトキシン(ふぐ毒)の結晶化に成功し、化学構造を決定。1966年に日本学士院賞、1980年に文化功労者、1982年に文化勲章を受章。

会長就任のあいさつ



KP会会長 森田裕子（45回生）

慶應義塾大学薬学部同窓会KP会の会員の皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

このたび高橋千佳子前会長のご退任に伴い、5月31日に開催された総会にて承認いただき、新しく代表理事（会長）に就任いたしました45回生の森田裕子と申します。

同窓会は1935年（昭和10年）に設立したと聞いています。1953年（昭和28年）に名称が「共立薬科大学同窓会」に、そして2008年（平成20年）の慶應義塾との合併により、「KP会」と名称変更し、翌年には一般社団法人化しました。KP会は現在、会員数14,000名を越える卒業生の会となりました。その責任の重さに身の引き締まる思いです。

KP会が一般社団法人となって15年が経ちましたが、高橋前会長はこのうちの10年間を務められて、この間に、卒業生・修了生をすべてKP会正会員とする定款の改訂を始め3回の定款改訂を行い、また「KP会星野尚美記念事業」を立ち上げて4本の事業を開始する等、精力的に同窓会の体制を整えてくださいました。特に力を注がれたのが、支部会の活性化です。全国の支部長を長年支えてこられ、その結果、多くの支部会が頻繁に開かれるようになって、同窓生の交流が深まったことは、皆さま、よくご存じの通りです。今後はその理念を引き継ぎ、支部会と学年会の活性化を支援し、さらに委員会活動も活発にさせるべく努めてまいります。

また、私は共立薬科大学と慶應義塾大学薬学部、両方の教員であったので、その経験を生かして、薬学部との絆をさらに深めたいと考えております。そして、若い世代の卒業生（塾員）や現役の学生（塾生）から見ても魅力ある同窓会を目指したいと思っております。ただ、一人ではできません。皆さまのご意見もう

かがいまして、新体制となった理事会チームと事務局で協力し、そして薬学部関係者のお力添えもいただきながら、進めていくつもりです。

さて、2024年度のKP会の活動ですが、全国各地での支部会が27件（計画は28件、悪天候で1件中止）、学年会は12件開催されました。9月のさいたま市での「同窓会&合同支部会」では、49名の参加を得て、新たな交流が生まれました。これらの出欠確認にはQRコードも使用し、集計作業の簡便化を図りました。

研修会では、講演を見逃された方や、もう一度お聴きになりたいという方のために、期間限定ですが、講義動画をKP会ホームページの会員専用ページから視聴できるようにいたしました。

若手支部会が企画運営しているOB・OG懇談会は、毎年好評をいただいております。10月に開催した会には、前回の倍以上となる40名の塾生が参加しました。そして1月の白衣式には、薬学部からKP会にご招待をいただき、会長と副会長が出席いたしました。

星野事業の一つである「卒後50年の集い」は、3月に招待対象の学年である40回生が58名参加されまして、旧交を温めて頂きました。

同窓会誌「なごみ」は、資材高騰と郵便料金の値上げ等に対し、75号からページ数を減らすこと等で、経費削減を実施しました。今後も印刷体の郵送は続けますが、希望者には郵送せず会員専用ページで閲覧していただく方式に変えつつあります。

今後とも先輩方が築いた「伝統と歴史」を守りつつ、現状の改善すべき点に対応していく所存です。温かいご支援とご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

（2025年6月記）

薬学部長のご挨拶

薬学部長

KP会名誉会長 有 田 誠



平素より薬学部の教育・研究活動にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2008年の共立薬科大学との合併から早いもので17年が経過しました。KP会の皆様には、引き続きご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

卒後50年の集いでは、芝パークホテルにお集まりいただいたKP会の皆様と直接お会いできる機会が持てました。思った以上に多くのご参加があり、中には遠方から参加された方々との再会や懐かしい思い出を語り合う場面に同席させていただき、現在の慶應薬学部につながる思いや絆、そして後輩たちへの期待など、とても温かい気持ちが伝わるひとときでした。1月には薬学科4年生を病院・薬局での実務実習に送り出すセレモニーである白衣式を挙行し、金井医学部長、野末看護医療学部長、北川常任理事からのご挨拶に加え、KP会からは高橋会長、森田副会長にご臨席賜りました。学生たちは毎年この実務実習を経て、白衣の似合う成長した姿で芝共立キャンパスに戻ってきてくれます。とくに今期はOSCE全員一発合格を成し遂げたこともあり、やる時はやる、為せばなるということで、大変期待しております。

3月末をもって、権田良子先生（薬学教育研究センター）が定年を迎えられました。4月からは新たな教授を迎えます。創薬研究センター内に新講座を設置し、松崎潤太郎教授が着任されます。薬物治療学講座准教授からの昇任で、高い研究力を備えた新進気鋭の医学研究者です。また、今年度からの特別枠として、スペイン・バルセロナ出身のMarta Prieto Vilaさんを

専任講師（有期）として迎え、学部教育の充実に加え、海外の大学や研究機関との国際連携活動を強化していきます。また、田口和明准教授が広島大学薬学部、木村俊介准教授が北海道大学薬学部、にそれぞれご栄転されます。その他、芝共立キャンパスの卒業生が専任講師や助教など、若手スタッフとして本学に着任する機会も増えており、次世代の育成も着実に進んでいます。

医学部との共同運営の「病院薬剤学講座」では、信濃町の慶應大学病院薬剤部において医療現場を支えるとともに、先進的かつ指導的な能力を持つ薬剤師研究者（Pharmacist Scientist）の育成を目指しています。また、昨年度に芝共立キャンパス内に寄附研究講座「ヘルスケア・イノベーション薬学講座」が発足しました。近年の予防医療やセルフケア・セルフメディケーションの重要性の高まりから、OTC医薬品の適切な使用の推進や、生活者視点で健康を支えるためのエビデンスの構築、その仕組み・ツールの開発への取り組みを進めています。ヘルスケアに関わる様々な研究分野と関連する領域であり、麻布台の慶應大学予防医療センターとの連携も今後期待されます。薬学部附属薬局も引き続き健康サポート薬局として、地域に根ざした様々な活動を続けています。

共立薬科大学から繋いできた伝統を守り、社会の要請に応えるための先導者・多様な人材を、慶應薬学部・薬学研究科より輩出していくために、KP会の皆様には引き続き母校へのご理解・ご支援をお願い申し上げます。

(2025年2月記)

退任にあたって



KP会前会長 高橋 千佳子 (38回生)

今年も桜のつぼみが少し色づき始め開花が待たれる季節となりました。なごみの誌面より会員の皆様にご挨拶させていただきます。

2015年の総会でKP会の代表理事(会長)に選定され、2025年5月まで10年間会長を務めさせていただきました。10年は長いようですがあっという間に過ぎた感じです。就任当時はKP会の組織作りから手がけ、共立薬科大学がなくなったことを嘆いている会員を慶應薬学部卒の会員と一緒に活動していただく様々な策を考えました。2015年6月から月曜会議(現在は運営会議)を開始し会長、副会長、事務局で毎週月曜日に打ち合わせを行いました。月1回の理事会だけでは処理できない案件の解決や理事会で承認をもらう案件の準備などです。この会議は現在も継続しております。

10年間を振り返ってみますと多くの出来事がありました。中でも忘れられないことは26回生故星野尚美さんが全財産を同窓生のために遺贈して下さったことです。2016年にこの資産を元に「KP会星野尚美記念事業」を立ち上げ、現在では「学生への奨学金給付」「共立薬科大学卒業50年の集い」「研究・活動助成金及び奨励賞」「支部会活性化事業」を実施しております。2017年10月に行われた「第1回卒業50年の集い」は、卒業50年にあたる33回生と専門学校ご卒業の1回生をはじめ18回生までの皆様、23回生、28回生の皆様にご参加いただきました。海外からのご参加もあり、芝パークホテルの大きな会場に笑顔が溢れていたのが印象的でした。

2019年は年号が平成から令和に変わり、KP会是一般社団法人化10周年を迎えました。総会では定款変更が承認され卒業生は全員KP会の会員になったことは、KP会の歴史の中で大きな出来事です。ところが2020年は日本中を驚愕させた「新型コロナウイルス感染」が拡大しKP会の活動はすべて中止となりました。しかし事務局の尽力によりリモートの準備ができ、翌年の2021年にはKP会として初めてハイブリッド

の総会を開催できたことも歴史の一つになるでしょう。この頃から、会議や研修会はWebでできるようになり、支部会や研修会が開催されています。このようにKP会は理事がチームになり多くの難題を超えることができました。この当時の事務局や理事の皆様には深く感謝しております。

さてコロナ収束後のKP会は役員改選により、慶應卒を含めて若い理事が就任しております。私達が先輩から引き継いだ「歴史と伝統」を伝えていくには若い理事に様々なことを理解していただきKP会の運営をお任せしていきたいと思えます。

私が10年間無事に会長として仕事できたのは多くの皆様の助けがあったからです。特に8年間副会長として私を支えてくれた同期38回生原和子さんは、時には私に厳しい指摘をしてくれました。また就任当時は活動が停滞していた全国の支部会で38回生が支部長を引き受けて下さり、現在は毎年支部会が開催できるようになりました。本当に有り難うございました。会長として不安な時期や大きな決断が必要な時には同期の友人達の存在は有り難いことでした。

退任するにあたり今思うことは同窓会とは薬学部と車の両輪となり運営していくことだと強く感じております。10年間お世話になった学部長は杉本先生、金澤先生、三澤先生、有田先生です。三澤先生にはホームカミングデーのご招待、有田先生には白衣式のご招待をいただきました。これからもKP会は薬学部とともに歩んでいくことを次の世代にお願いしたいと思います。卒業生は全員KP会の会員であることを忘れないで下さい。長いようで短い濃度濃い10年間でした。会員の皆様、そして理事会の皆様、薬学部関係者の皆様にご心より御礼を申し上げます。皆様の今後のご発展をお祈りして私の退任のご挨拶とさせていただきます。

(2025年3月記)

2025年度も公開講座を開講しております。
是非、母校のプログラムをキャリア形成・自己研鑽にご活用ください。

開催日程・形式は変更となるおそれがあります。今後の開催日程や、開催中止にともなう対応につきましては、
本学部生涯学習ホームページに掲載しますのでそちらもご覧ください。

2025年度 慶應義塾大学薬学部 公開講座 年間テーマ「薬剤の専門職として高度化する業務の期待に応える」

7/26⁺ 開講時間 13:50~16:50【Web開催】 受講料 2,600円 生涯研修認定単位 2単位 申込期日 7/13[㊟]

「頭痛に種類があること、知ってますか？」

滝沢 翼（慶應義塾大学 医学部 内科学教室(神経) 専任講師）

「医療DXと電子版お薬手帳を基盤とするPHRの医療機関での活用とその課題」

島田昌典（harmoni株式会社 病院営業推進部・学術部 統括部長）



8/31[㊟] 開講時間 9:50~12:50【Web開催】 受講料 2,600円 生涯研修認定単位 2単位 申込期日 8/17[㊟]

「米国と日本における薬剤師のタスクの違いについて」

城戸和彦（ウエストバージニア大学 薬学部 臨床薬学部門 臨床准教授）

疑問にお答えしますー和漢診療の専門医はどのように処方を決めているのか

並木隆雄（国際医療福祉大学成田病院 予防医学センター 病院教授）



9/14[㊟] 開講時間 13:00~17:00【会場開催】 受講料 無料 生涯研修認定単位 2単位 申込期日 8/24[㊟]

指導薬剤師のためのワークショップ「いい子症候群」の若者世代に対する実務実習マネジメント講座[※]

金間大介（金沢大学融合研究域 融合科学系 教授）

慶應義塾大学薬学部附属 医療薬学・社会連携センター

※受講資格 実務実習指導薬剤師認定取得者および申請予定者のみ



9/28[㊟] 開講時間 9:50~12:50【Web開催】 受講料 2,600円 生涯研修認定単位 2単位 申込期日 9/14[㊟]

がんプロフェッショナル研修会〔座学〕

「がん薬物療法における薬薬連携と地域連携

ー病院と薬局の薬剤師が協働して薬物療法をサポートするー

大登 剛（上尾中央総合病院 薬剤部）



10/5[㊟] 開講時間 9:50~12:50【会場開催】 受講料 2,600円 生涯研修認定単位 2単位 申込期日 9/21[㊟]

「認知症の治療ーアルツハイマー病に対する最新治療も含めてー」

水上勝義（筑波大学 体育系 教授）

「デジタル技術を用いた治療(DTx)と薬剤師」

渡邊大記（日本薬剤師会 副会長）



10/25⁺ 開講時間 13:50~16:50【Web開催】 受講料 2,600円 生涯研修認定単位 2単位 申込期日 10/13[㊟]

「知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識」

米澤 淳（慶應義塾大学薬学部 統合臨床薬理学講座 教授）



1/18[㊟] 開講時間 13:30~【Web開催(オンデマンド)】 受講料 無料 生涯研修認定単位 なし 申込期日 1/12[㊟]

がんプロフェッショナル研修会〔市民公開講座〕

「がんの薬物治療はここまで進化した！最新のがん薬物治療

～がんになる前に・なった後も知っておきたいこと～

山口正和（がん研究会有明病院 院長補佐・薬剤部長）



その他のご案内

- 本学講座で取得した単位シールは、認定手続き・単位発行を電子化したプロバイダーへの認定申請にもご利用いただけます。(例)日本薬剤師研修センター PECS
- 各講座の講演内容、学習到達目標、講師情報は公開講座Web申込サイトよりご確認ください。

公開講座Web申込サイトURL : <https://cpec-keio.resv.jp>



研修会から

2024年春の研修会

「薬物治療の個別最適化を目指した統合臨床薬理学研究 ～薬学研究者と臨床薬剤師の立場から～」

慶應義塾大学薬学部統合臨床薬理学講座 教授

米澤 淳



1. はじめに

様々な革新的医薬品の登場により、薬物治療は大きく進展してきました。一方で、新薬開発では特定の患者集団の平均として有効性が評価されるため、臨床において個々の患者に最適な薬物治療を提供するためのエビデンスが不足しています。リアルワールドデータ解析による育薬研究は、その課題を解決する可能性があります。さらに、抗体医薬品などの高分子医薬品の薬物血中濃度モニタリング(TDM)の実践には、革新的分析技術の開発や新しい概念の創出も必要となります。

慶應義塾大学薬学部統合臨床薬理学講座では、臨床薬理学、疫学、分析科学などさまざまな学問領域を応用して抗体医薬品の個別最適化を目指す統合臨床薬理学研究を展開しています。本稿では、その一例と今後の展望についてご紹介いたします。

2. 抗体医薬品血中濃度評価による個別化医療

抗体医薬品は低分子医薬品と異なり、肝代謝や尿中排泄によって消失するわけではありません。一般的に、血中のタンパク質は血管内皮細胞など各種細胞へエンドサイトーシスによって取り込まれ、リソソームへ送られて分解されます。また抗体医薬品は、大きな分子であるため生体内で免疫原性を示し、抗体医薬品に対する抗体(抗薬物抗体)が産生される場合があります。抗薬物抗体が産生されると、血中濃度が極端に低下し、薬効が大きく低下することがあります。自己免疫疾患治療では、長期間抗体医薬品を使用する場合があります、抗薬物抗体の産生頻度が高くなり、二次無効の原因として臨床上の課題となっています。

日本で唯一、抗体医薬品の血中濃度測定に

保険適応があるのは、関節リウマチ治療におけるレミチェック®です(正確には、診療報酬上TDMとは異なります)。添付文書では、「インフリキシマブ投与中の関節リウマチ患者において、効果不十分と判断された患者に対し増量等を判断するための補助に用います」と記載されています。承認の根拠となったのは、本塾医学部が中心となって実施された、インフリキシマブ投与量評価に関する介入研究のRISING studyです(Takeuchi T, Mod Rheumatol, 2009)。

一方、介入研究の結果に基づいて承認された技術を実臨床でどのように活用するかは判断は難しいところです。そこで私たちは、京大病院リウマチセンターにあるコホートデータ(KURAMAコホート)を用いて、実臨床における血中濃度測定の意義について検討を行いました(図1)。対象のほぼすべての患者において、インフリキシマブ導入後に治療効果が観察されました。つまり、血中濃度を測定せずとも、医師が効果を判定しながら適切に増量し、臨床効果が得られていると考えられます。他方、血中濃度が低かった患者においては、長期間インフリキシマブを投与して効果が減弱する二次無効が高頻度で観察されました。つまり、二次無効を予測(もしくは注意)するために、血中濃度データを参考にできるかもしれません。抗体医薬品のTDMが期待されていますが、どのように臨床応用するかについてはさらなる検討が必要です。

3. 抗体医薬品の革新的分析法の確立

抗体医薬品のバイオトランスフォーメーションへの注目も高まりつつあります。バイオトランスフォーメーションとは、生体内での構造変化のことを指します。低分子医薬品の代謝物は

すべて同定されます。しかし、抗体医薬品は、ELISA法での測定のため、構造変化を検出することができません。しかし、さまざまな技術を用いて分析を行うと、抗体医薬品においてバイオトランスフォーメーションが起こっていることが明らかになりつつあります。

私たちは、目的の抗体医薬品を免疫沈降で単離し、質量分析器を用いて解析することにより、構造変化の有無を調べました(図2)。その結果、リツキシマブ投与患者では、投与直後と3週間後のトラフで糖鎖の割合が変化していることを明らかにしました。このような割合の変化が薬効などに影響を与える可能性があり、正確な分析法が必要と考えられます。さらに、私たちは、エタネルセプトのN末端の2アミノ酸が、投与後に生体内酵素DPP4で切断されることを明らかにしました。製剤評価を行っている分子(全長エタネルセプト)と生体内の分子(2アミノ酸欠損エタネルセプト)が異なっており、医薬品開発段階で正しい情報が得られていない可能

性もあります。

このように、抗体医薬品のTDMや薬物動態解析を実施するための分析手法は、まだ発展途上にあります。抗体医薬品の真の体内動態を解明することは、医薬品適正使用のために重要であると考えられます。

4. 終わりに

抗体医薬品などのバイオ医薬品は、効果や安全性が高い一方で、高価であり、医療経済の観点で課題が存在します。患者の薬物治療の向上や医療費抑制において、TDMによる個別化医療は貢献できると考えられます。しかし、低分子医薬品と抗体医薬品のTDMの考え方には、実臨床において異なる点がある可能性があります。抗体医薬品TDMを実現するためには、さらなる研究の推進が必要です。さらに、真の抗体医薬品体内動態を解明するためには、新しい分析手法の確立も重要であると考えられます。

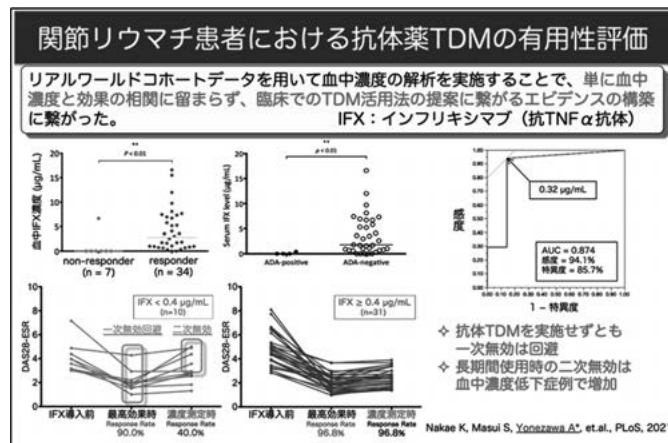


図1. 関節リウマチ患者における抗体薬TDMの有用性評価

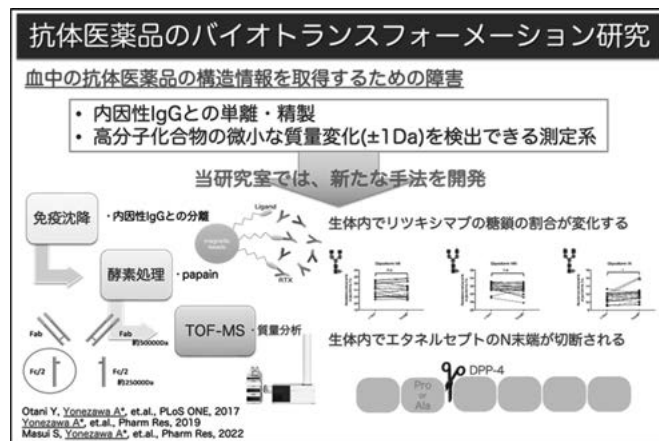


図2. 抗体医薬品のバイオトランスフォーメーション研究



慶應義塾大学医学部感染症学教室
慶應義塾大学病院臨床感染症センター 専任講師

宇野 俊介

はじめに

近年、感染症を取り巻く状況は大きく変化している。新興感染症の出現、薬剤耐性菌（AMR）の増加、高齢化社会における感染症対策の重要性がますます高まっている。また、パンデミックを通じて、感染症が医療体制や社会経済に及ぼす影響の大きさが再認識された。本講演では、世界的な感染症の動向や国内の課題、最新の治療法の進展について俯瞰した。さらに、医療経済評価の考え方を紹介し、どのような感染症対策が持続可能な医療の実現に寄与するのかを、政策的に考える必要性を提案した。

結核の疫学と我が国における入国時の結核スクリーニング

結核は日本において、2021年の罹患率で10万人あたり9.2と、低まん延国の水準に到達した。現在の我が国における結核罹患者は、高齢者や海外出生の若年層が中心となっている。今後、輸入感染症としての側面が重要になっており、現在入国前の結核スクリーニング検査の運用が検討されている。胸部レントゲン写真で活動性結核を除外するのか、またインターフェロン遊離試験（IGRA：interferon-gamma releasing assay）などで潜在性結核感染症（LTBI）をスクリーニングし先制治療を行うのがよいのか、などいくつかの戦略が考えられる。慶應義塾大学への外国人留学生において、高まん延国からの入国者ではLTBIの有病率が高い傾向にあり、費用対効果を考慮した戦略の立案が望まれる。

医療経済評価

医療経済評価の役割は、医療における限られた資源の効率的配分を目指して、そのエビデンスを提供し、政策決定に資することである。健康改善をアウトカムとして、その改善にあつ

ていくらの追加的費用が必要になるかを計算する。様々な医療技術を比較するために、健康改善のアウトカムとして質調整生存年（QALY: quality-adjusted life years）を用いることが一般的である。我が国においては、1 QALYの改善あたりの追加的費用が500万円までであれば、費用対効果が良いとされている。感染症の評価において、従来型の医療経済評価に課題がないわけではないが、費用対効果を考慮した感染症治療や予防の策定が望まれる。

HIV/AIDSの長期管理と予防

HIV治療分野では、「U=U（Undetectable = Untransmittable）」の概念が普及してきており、治療によってウイルス抑制を達成することで、感染防止に直結することが証明された。また、曝露前予防（PrEP：PreExposure prophylaxis）を行うことで、HIV感染を予防する試みが世界的に広く普及してきている。特にPrEPにおいては服薬アドヒアランスと予防効果が相関するため、いかにアドヒアランスを高めるかが重要な課題となっている。さらに、長期間効果が持続する新規の薬効機序である「レナカパビル」が承認され、レナカパビルによるPrEPの効果が期待されている。一方で、感染者の高齢化が進行しており、また実年齢以上に老化が進んでいるいわゆるpremature ageingが課題である。それに伴う非エイズ疾患、悪性腫瘍、心血管疾患、腎機能低下、フレイル、といったさまざまな併存症を総合的に診療していく必要性が求められている。

梅毒

梅毒の流行は日本国内でも顕著であり、感染者数は過去10年間で急増している。特に20代の女性、および20—50代の男性での感染が目立

ち、明確な原因は特定されていないものの、SNSや出会い系アプリを介した接触の多様化が感染拡大の一因ではないかと推測されている。筋注のベンザチンペニシリンGの国内承認により、我が国でもようやく国際標準的な治療が可能となった。梅毒については、ようやく培養や薬剤感受性試験を実施できる可能性が近年指摘されており、今後の診断技術や分子疫学解析などの発展が期待される。

エムボックス

2022年以降、エムボックスが世界中で再流行し、WHOにより“国際的に懸念される緊急事態（PHEIC：public health emergency of international concern）”が宣言された。2022年に流行したClade IIbとはまた別のClade Iが2024年になってコンゴ民主共和国で流行し出している。痘瘡に対するワクチンや、テコビリマット（抗ウイルス薬）が、一定の効果を示しているが、我が国においても再度流行がおきるのかどうか、注意深く観察していく必要がある。

劇症型溶連菌感染症

劇症型溶連菌感染症は、“病状の進行が急激かつ劇的で、発病から数十時間以内にショック症状、多臓器不全、急性呼吸窮迫症候群、壊死性筋膜炎などを伴う、致命率の高い感染症”である。β溶連菌が原因になることが多いが、2023年には、特にA群β溶連菌を中心に流行が確認され、報告数が増加した。M1UK系統株が流行し、非UK系統株に比べて毒素産生量が約9倍であり、さらに伝播性が高いとされていた。

薬剤耐性（AMR：antimicrobial resistance）対策

AMRが国際的に問題になっており、2050年にはAMRによる死亡者数が悪性腫瘍による死亡者数を超えることが懸念されている。新規抗菌薬の開発が停滞しているが、収益性の低下や、使用量を適正水準にコントロールすることが求められる特性から、製薬企業の参入障壁が高くなっている。そのため、新規抗菌薬開発を促進するための、インセンティブ設計が世界各国で

検討され始めている。日本で承認されたセフィデロコルは、収益性を補う抗微生物薬適正使用協力金（年間収入保証型）のプル型インセンティブ制度の先駆けとなっている。このようなインセンティブが他の抗菌薬にも応用できるのか、また他にもどのようなインセンティブの方策が望ましいのか、その費用対効果をどのように評価するか、などの課題は多いものの、産官学共同で、持続可能なAMR対策を実施することが望まれる。

外来静注抗菌薬療法（OPAT：outpatient parenteral antibiotic treatment）

OPATとは、単に外来で静注抗菌薬を使用する行為ではなく、適切な診断に基づく対象患者の選定、治療開始のための患者教育、治療中のモニタリング、治療後の経過観察までを含めた包括的な診療行為を、OPATプログラムとしている。欧米では1980年代から使われている概念であるが、日本ではまだ馴染みがない。抗菌薬適正使用をさらに拡張した、感染症診療の適切なあり方を目指した概念である。我が国においても、後期高齢者が減ってくる未来を見据えて、急性期病院のダウンサイジングを確立するために必須のプラットフォームである。現在、日本感染症学会においてワーキンググループが組織され、我が国における保険承認を目指して活動している。

終わりに

感染症の流行と治療技術の進展は、社会全体の健康と福祉に直結する。医療従事者だけでなく、行政や研究者、市民一人ひとりが協力し、エビデンスに基づいた対策を講じることが重要である。感染症対策の未来を共に描き、持続可能な社会を構築していくことを目指していく必要がある。

KP会福島塾

KP会福島塾とは…

福島紀子慶應義塾名誉教授（39回生）が始めた“明日から役立つ薬剤師のための研修会”を「KP会福島塾」と名付け、KP会主催・慶應義塾大学薬学部共催で開催しています。年3回（7月・10月・2月）日曜日の13時半から90分、Webセミナーをライブ配信しています。各回生涯研修認定1単位（シール）を発行いたします。開催のお知らせはメールでご案内いたします（本学卒業の方のみ）。受講をご希望の方は、メールアドレスをご登録ください。尚、受講料のうち、KP会の正会員A・Bの方にはKP会より1,000円の補助があります。

■ 2024年度活動報告 ■

	開催日	講師	演題	シール
第29回	2024年 7月21日(日)	慶應義塾大学薬学部名誉教授 福島 紀子先生	薬育・薬物乱用防止教育 ～薬剤師にできること～	1単位
第30回	2024年 10月6日(日)	株式会社メディカルガーデン OTCセルフメディケーション 推進室室長 鈴木 伸悟先生	薬局OTCスキルアップセミナー ～臨床知識から商品選びまで～	1単位
第31回	2025年 2月16日(日)	つなぐ薬局 学術研修室 鈴木 邦彦先生	病院薬剤師の経験を活かす！在宅医療における 薬剤師の挑戦と処方提案の可能性	1単位

■ 2025年度開講予定 ■

	開催日	講師	演題	シール
第32回	2025年 7月27日(日)	新潟薬科大学薬学部社会薬学 研究室教授 富永 佳子先生	生活習慣病患者に対する食事栄養に関する助言 ～患者の行動変容を支援する動機付け面接のエッセンス～	1単位
第33回	2025年10月	未定	未定	1単位
第34回	2026年2月	未定	未定	1単位

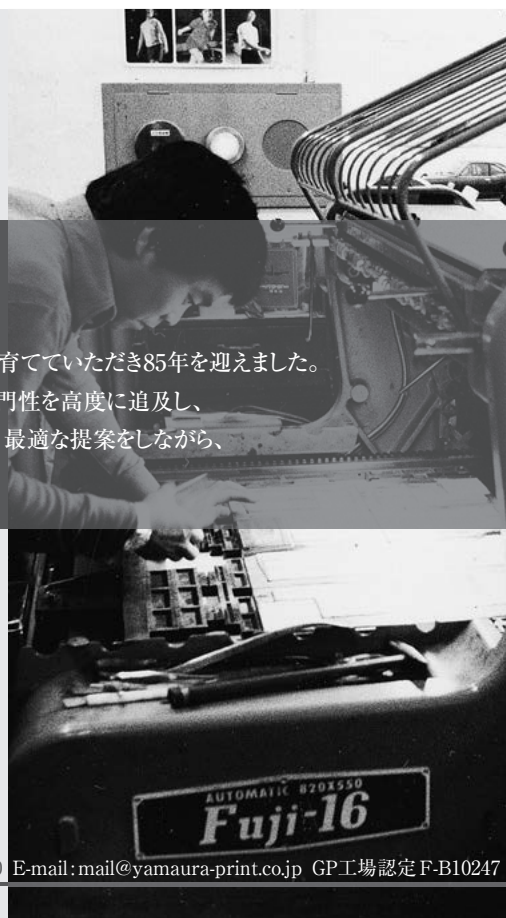
この先の未来へ

1939年の創業以来、総合印刷業として地域の皆様、多くのお客様に育てていただき85年を迎えました。
変革する時代に合ったクオリティとスピード、セキュリティ面における専門性を高度に追及し、
お客様からの信頼を基本に考え、常にお客様に満足いただけるよう、最適な提案をしながら、
新たな情報発信を通じて、この先も成長してまいります。

 山浦印刷株式会社

〒112-0014 東京都文京区関口1-39-10 TEL.03-3203-4721 FAX.03-3203-4910

E-mail: mail@yamaura-print.co.jp GP工場認定 F-B10247



Hoshino KP会星野尚美記念事業 Hoshino

2017年5月KP会社員総会にて、26回生星野尚美さんの遺贈を基に「星野尚美記念事業」が承認されました。2021年からは、『Ⅰ. KP三田会星野尚美記念薬学部奨学金』『Ⅱ. KP会星野尚美記念 卒後50年の集い』『Ⅲ. (1)KP会星野尚美記念 薬学研究・活動助成金 (2)KP会星野尚美記念 薬学研究・活動奨励賞』『Ⅳ. 支部会活性化事業』を4本の柱とし、故星野尚美さんへの感謝とともに御遺志に沿った事業を実施しております。

I. KP三田会星野尚美記念薬学部奨学金 (Naomi Hoshino Memorial Scholarship in Pharmacy)

薬学部奨学委員会により選出され、給付を受けた18名の学生からのお礼状です。(2024年12月記)

この度は奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。今夏の台風10号で父の農業法人で最大の栽培施設が全壊し、学費の支払いに不安を覚えておりました。いただいた奨学金は全額秋学期の学費に充てさせていただきます。将来製薬の研究者となり社会に貢献できるよう、博士課程修了まで日々精進して参りたいと思います。(薬科学科3年)

私は、周りの人たちに比べて知識や能力の面で劣っているため、研究に対して向き合う時間で補い勝てるよう取り組もうと考えています。身に余る機会に恵まれている素晴らしい環境に感謝し、関わりのある方々に応えたいです。そして、この度の経済的支援に対する感謝を結果で示せるように努力致します。(薬科学科4年)

この度は奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。薬学部では、日々興味深い授業を楽しみながら受講することができています。いただいた奨学金は学費に使わせていただきます。これからも将来医療人として社会に貢献していけるように努力していきます。この度は本当にありがとうございました。(薬学科2年)

この度はKP三田会星野尚美記念薬学部奨学金の奨学生に採用していただき、心より感謝申し上げます。頂いた奨学金は学費に使わせていただきます。ご支援のおかげで、アルバイトの時間を減らし、学業により集中することができています。私の一つの目標である国家試験合格を達成するため、日々勉強し、精進して参ります。(薬学科2年)

この度はKP三田会星野尚美記念薬学部奨学金に採用していただき、心より感謝申し上げます。机上の学びも専門的になり、充実した大学生活を送っております。頂いた奨学金は学費の補填として使わせていただこうと思っております。そして皆様からのご支援の感謝を忘れず、これからも夢に向けて一層努力してまいります。(薬学科2年)

この度は奨学金のご支援をいただけます事、誠に有難うございます。憧れから志した薬学の道で、新たな学びを得る事への感謝と、人が薬を扱い、責任を担う意義を感じています。今日より先も、学びへの挑戦心を持ち、分野を限らず知識を深めていきたいと存じます。奨学金は全て学費として大切に使用させていただきます。(薬学科2年)

この度は奨学金を支給いただき、誠にありがとうございます。いただいた奨学金は学費に充て、薬剤師国家試験の準備に役立てさせていただきます。現在は日本茶の健康効果に興味を持っており、将来はその知識をいかしていきたいと考えています。これからも努力を惜みず、学業に全力を尽くします。心より感謝申し上げます。(薬学科2年)

この度はKP三田会星野尚美記念薬学部奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。ご支援していただきました奨学金は全て学費に充てさせていただきます。私は将来、臨床と研究の両方に携わるPharmacist Scientistを目指しています。これからの学生生活も目標を実現するために有意義なものにしたいと考えております。(薬学科3年)

この度は採用していただき、ありがとうございます。いただいた奨学金は薬学部の学費として使用させていただきます。私は現在、薬学生として座学と実習に励んでおります。大学での学びを活かし、将来は一人一人の患者さんにあった薬を調剤できる薬剤師になりたいと考えております。改めて、感謝申し上げます。

(薬学科 3年)

この度は奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。家族共々心より感謝申し上げます。頂いた奨学金は学費の一部に充てさせていただこうと考えております。今後も日々の勉強や様々なことへの挑戦を通して自分自身を成長させ、思いやりの精神を持った医療人になることができるよう励んでいきます。

(薬学科 3年)

この度は、奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私は将来、医薬品の開発に携わるために、日々学業に励んでおります。経済的な負担を減らしたいという思いがあり、ご支援をいただけることを大変嬉しく思います。奨学金はすべて学費として使わせていただき、今後も学びを大切に努力して参ります。

(薬学科 4年)

この度はKP三田会星野尚美記念薬学部奨学金に採用していただき、心より感謝申し上げます。奨学金は、学費の支払いや実習中にかかる費用に使用させていただきます。研究活動や実務実習に精力的に取り組み、医療に携わる人間として成長していきます。

(薬学科 4年)

この度は、奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。現在、私は薬学科4年生で、実務実習を控えています。今までの知識を踏まえて、臨床の場から様々なことを学んで参りたいと思います。このように、薬学を十分に学ぶことができるのは、KP会の皆様のおかげです。感謝申し上げます。(薬学科 4年)

この度はKP三田会星野尚美記念薬学部奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。今回いただいた奨学金は学費に使用し、実習やその先の社会に貢献できるような薬剤師になることを目指し、日々薬学の知識をより深めるために全力を尽くして勉強に取り組みたいと思います。(薬学科 4年)

この度は本奨学金にご採用くださりありがとうございます。奨学金は学費に充てさせていただきます。この奨学金は私の経済的負担を軽減させるだけでなく、私の生活の中心である研究活動の大きなサポートになります。今後も探求心を持ちながら、国際的な公衆衛生に貢献できるような人材を目指していきます。

(薬学科 4年)

この度は奨学金のご支援を頂き、誠に感謝しております。頂いた奨学金は学費として使わせていただきます。現在、私は4年生となり、OSCEを終え、配属された研究室で研究テーマの探索と、CBTに向けた勉強をしています。今後は、研究活動だけでなく、人との関わりを大切にしながら、よりいっそう勉強に励む所存です。

(薬学科 4年)

この度は、奨学金に採用してくださり、感謝申し上げます。おかげさまで、アルバイトの時間を短縮し、より学業や研究に専念することができています。将来は薬剤師としての専門性を高めるとともに後進の育成を通じて医療に貢献していきたいと考えており、今後もより一層勉強に励む所存です。重ねて御礼申し上げます。

(薬学科 5年)

この度は、2024年度KP三田会星野尚美記念薬学部奨学金に採用頂き誠にありがとうございます。本奨学金は全額学費に充てさせていただきます。現在は、薬剤師国家試験合格に向けて日々勉強に励んでおります。卒業後は薬局薬剤師として、医療に貢献していけるように精進致します。この度は本当にありがとうございました。

(薬学科 6年)

Ⅱ. KP会星野尚美記念 卒後50年の集い

40回生「卒後50年の集い」は、前日までの雪とはうってかわり晴天のなか、芝パークホテルローズルームにて2025年3月9日12時より開催されました。冒頭に高橋千佳子KP会会長の今年で退任されるご報告と、ご来賓の有田誠薬学部長による高橋会長への労いならびに薬学部の近況報告などのご挨拶により始まりしました。その後、40回生代表として代議員の黒崎美佐様からのご挨拶、同じく代議員の清水靖子様による乾杯を以って会食・会談となりました。会食中には出席された58名の同窓生全員からご挨拶を兼ね1分程度で近況報告を行い、再会した同級生との会話に花を咲かせ、盛況のうちに14時に閉会となりました。

KP会理事 市川大樹(68回生)



Ⅲ. (1) KP会星野尚美記念薬学研究・活動助成金 (Naomi Hoshino Memorial Grant for Pharmaceutical Initiatives)

■ 2024年度 活動助成金報告 ■

内在性dsRNAを標的とした難治性マンツル細胞リンパ腫に対する 新規治療法の開発

この度は2024年度のKP会星野尚美記念薬学研究・活動助成金にご採択くださり、またこのような助成金を遺贈くださった星野尚美様に心より御礼申し上げます。

我々は難治性造血器腫瘍における新規治療薬の開発に取り組んできました。マンツル細胞リンパ腫(MCL)はB細胞の難治性造血器腫瘍で、未だ標準治療が確立されておらず致死性です。近年、癌治療においてマルチオミクス解析を基に遺伝子変異に応じた分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤を選択する研究が盛んに行われています。この解析の中でヒト内在性レトロウイルス(HERV)由来dsRNAが同定され、抗腫瘍効果を有することが報告されています。そこで我々は、難治性MCLにおいてどのような薬剤が内在性dsRNAを誘導しうるのか、またその分子機構を解明することを目的としました。本助成により、MCL細胞において、アルキル化剤やチューブリン重合阻害剤といった治療薬の一部が内在性dsRNAを誘導することを見出しました。さらにこれらの内在性dsRNAが核酸受容体のうちMDA-5を介してアポトーシスを促すこと、また抗腫瘍効果を示すInterferon- γ の発現を誘導することを明らかにしました。今後は、この内在性dsRNAの発現機序およびその本体の同定、実際にCD8T細胞の活性化といった抗腫瘍免疫賦活作用を有するのか、さらなる研究を行っていきます。これらの知見を基に、難治性造血器腫瘍に留まらず、他の難治性がんに対する新規核酸医薬に繋げていくために一層、研究に励んでいきたいと存じます。



慶應義塾大学
薬学部 助教
市川 大樹
68回生(2002卒
2007博修了)

高感度化学発光アッセイを利用したオーファンモノカルボン酸トランスポーター(MCT)の基質・阻害剤スクリーニング

生体膜では、トランスポーターが機能することで細胞内外のホメオスタシスが維持されている。モノカルボン酸トランスポーター(MCT)ファミリーは、短鎖脂肪酸や有機アニオン性薬物を輸送する。しかしその中には、病態やがん薬剤耐性などとの関連が示唆されているものの、その内因性基質や輸送特性が不明なオーファンMCTも含まれる。本研究では、オーファントランスポーターであったMCT13に着目し、化学発光アッセイ(eLuc-D-ルシフェリン法)を応用して、その輸送機能を評価するとともに、相互作用する薬物のスクリーニングを試みた。MCT13とeLucを共発現させたHEK293T細胞では、D-ルシフェリンの取り込みによる発光が確認され、輸送活性を評価可能であることが示された。また、その輸送特性として、細胞膜電位が減少すると輸送活性が増大する一方で、H⁺勾配には依存しないことが明らかとなった。さらに、阻害剤スクリーニングの結果、セフラジンやプロベネシドを含む複数の薬物がMCT13の取り込みを顕著に阻害することが示され、MCT13とそれらの薬物の相互作用が示唆された。以上、本研究により、簡便かつスループットの高いオーファンMCT輸送機能評価系を確立できた。本評価系の応用により、さらなるMCT13の基質や阻害剤の同定が進むことが期待される。最後に、本研究の機会をいただいたことに深く感謝申し上げる。



東京薬科大学
講師
樋口 慧
72回生(2006卒
2011博修了)

高度管理医療電解水生成装置を活用した清潔区域の新規清掃法の検証

まず初めに、KP会星野尚美記念薬学研究・活動助成金を給付していただき、心より感謝申し上げます。抗がん薬調製時における生物学的安全キャビネット(BSC)内での新規清掃方法の確立を本研究の目的とした。

医薬品の職業性曝露は、吸入や経口摂取、皮膚接触など様々経路で生じ、抗がん薬調製においてはそのリスクが高い。従来の清掃法は蒸留水およびエタノールを用いることが一般的であり、エタノールの揮発により除去できなかった抗がん薬の残留物が調製者に吸入曝露する可能性が存在する。本研究では、高度管理医療電解水生成装置(WOX-30WA-M2[®])から生成される次亜塩素酸水の使用を新規清掃法とし、その有効性を検証した。無菌性の評価をATPふき取り試験を用いて検討し、新規法は従来法と比較してRLU値に有意差は見られず、BSCの清掃に必要な無菌性が維持できることを明らかにした。さらに、ワイプ試験を用いて抗がん薬の残留量を測定した結果、新規法は従来法と比較してシクロフォスファミド、5-フルオロウラシル、ゲムシタビンの残留量を有意に減少させることが明らかとなった。

以上の結果から、次亜塩素酸水を使用した新規法が従来法に代わる効果的な清掃手段となり得ることが示唆された。本研究の結果では、従来の清掃方法ではわずかながらも抗がん薬が残留していること、手指消毒用に用いられる低濃度の次亜塩素酸水を清掃に使用することで、抗がん薬を効果的に除去できることを明らかにした。これらの成果は、BSCの清掃の新たなエビデンスとして、今後の医療現場での実践に貢献することが期待される。



がん研究会
有明病院 薬剤師
野々宮 悠真
81回生(2015卒
2019博修了)

薬剤師に対する国民からの評価と薬剤師養成教育との関係に関する研究

KP会星野尚美記念薬学研究・活動助成金に採択いただき、感謝申し上げます。本研究では、6年制課程修了薬剤師が全体の約4割の現状を踏まえ、国民から見た薬剤師の評価を調査し、薬剤師養成教育の成果と課題を検討しました。

薬剤師は公衆衛生や健康支援に関わる専門職であり、その社会的評価は教育内容や医療制度に影響します。6年制薬学教育では、実務実習やプロフェッショナルリズム教育が強化されており、それが社会でどう受け止められているか把握することは重要です。調査は、過去1年以内に薬剤師と会話した18歳以上を対象にオンラインで実施し、会話内容や印象、満足度など6項目で構成しました。結果は、93.4%の方が薬剤師の情報を肯定的に評価し、信頼性の高さが示されました。一方、否定的な意見は少数ながら50代以上に見られました。表情や話し方など非言語的印象も好意的で、信頼形成に寄与していると考えられます。医療サービスの満足内容は処方薬が中心でしたが、「体調管理」や「OTC医薬品」の相談も見られ、これらは6年制教育でも重視される分野であり、今後のニーズ拡大が期待されます。

現時点では6年制教育の成果が大きく反映された結果とは言えませんが、非言語的印象や相談内容の広がりにより教育の影響もうかがえます。今後6年制薬剤師の増加を踏まえ、調査を継続し、評価と教育の関係をよりの確に捉える必要があります。こうした取り組みを通じ、多様な医療ニーズに応える薬剤師の育成に貢献したいと考えています。

最後に、貴重なご支援を賜りましたKP会関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



昭和医科大学
薬学部 講師
小林 文
(2007他大卒
博士 2007修士)

■ 2025年度 活動助成金受給者 ■

氏名 回生(卒年 修了年)	研究・活動題名
山元 智史 83回生(2017卒 2022院後修了)	PSAT1発現上昇によるがん細胞由来エクソソーム分泌異常と転移リスクマーカー評価方法の検討
鈴川 真由 88回生(2022卒)	抗体医薬品投与時のInfusion-related reactionに対する非鎮静性抗ヒスタミン薬の予防効果の検証

■ 2026年度 活動助成金募集 ■

募集期間：2025年9月1日(月)～2026年1月9日(金)

(なお、郵送は消印有効)

詳細はHPをご覧ください。

<https://www.kp-dousoukai.com/hoshino/subsidy/>



Ⅲ. (2) KP会星野尚美記念薬学研究・活動奨励賞

(Naomi Hoshino Memorial Encouragement Award for Pharmaceutical Initiatives)

■ 2024年度 活動奨励賞報告 ■

〈研究発表〉 ALSの原因となるTDP-43沈殿を抑制するRNAの創製

この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。私は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の治療薬創製を目指し、日本薬学会物理系薬学部会主催「次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム(PPF)」で口頭発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。ご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

ALSは神経変性疾患の一種であり、呼吸不全により死に至るため、治療法の確立が急務です。その原因の一つとして、核酸結合タンパク質TDP-43の細胞質における沈殿が挙げられます。TDP-43の沈殿形成は、ウラシルとグアニンに富むUG-rich RNAの結合によって抑制されることが報告されており、これを基にした核酸医薬の創製が期待されています。そこで本研究では、高い沈殿抑制活性を持つ核酸の創製を目的としました。その結果、RNAのTDP-43への結合親和性が高いほど、沈殿抑制活性が高いという相関があることを明らかにし、結合親和性向上を指向した新たな創薬戦略を構築することに成功しました。今回の受賞を励みに、今後も研究活動に邁進してまいります。



慶應義塾大学
大学院薬学研究科
前期博士課程2年
西村 錬
(89回生 2023卒)

〈研究発表〉 デキストラン硫酸ナトリウム誘発性炎症性腸疾患マウスモデルにおけるfidaxomicinの抗炎症効果の評価と腸内細菌叢の解析

この度は素晴らしい賞をいただき、心より感謝申し上げます。私の研究対象は世界で死亡率の高い*Clostridioides difficile*感染症(CDI)です。そのリスク因子の一つに炎症性腸疾患(IBD)があります。新規CDI治療薬のfidaxomicin(FDX)はマクロライド骨格を有しているため抗菌効果に加え抗炎症効果を示す可能性があります。本研究では、デキストラン硫酸ナトリウム(DSS)誘発性IBDマウスモデルを用いてFDXの抗炎症効果の評価しました。また、抗菌薬は腸内細菌叢に影響を及ぼすことからIBDマウスモデルにFDXを投与した際の腸内細菌叢への影響も検討しました。結果として、FDX投与群ではIBD様症状の進行抑制がみられ、形態学的評価においてFDX投与群ではIBDによる直腸の細胞破壊の抑制がみられました。腸内細菌叢解析において、IBDマウス群とFDX投与群の細菌叢分布は近似しており、FDXの抗炎症効果に腸内細菌叢は影響しないことが示されました。本研究内容は第7回フレッシューズ・カンファランスにて口頭発表し、優秀演題発表賞を受賞しました。今後も真摯に研究活動に従事させていただく所存です。



慶應義塾大学
大学院薬学研究科
後期博士課程2年
三原 貴之
(89回生 2023卒)

〈薬剤師活動〉 エビデンスのある学校薬剤師活動 ～学校薬剤師の資質向上を目指した研究委員会

私は学校薬剤師の経験と知識(消毒薬に関連した大学での研究歴と学位)を生かし、学校薬剤師の資質向上を目指しエビデンスのあるものにと、山口県学校薬剤師会にて10年前にワーキンググループを立ち上げて活動してきました。県内各地域の疑問を吸い上げて、調査や実験を行うことで問題解決に導き、解決方法を県内学校薬剤師に共有するだけでなく、学術大会で発表し、山口県学校薬剤師会のホームページにQ&Aとして公表するという作業を毎年続けてまいりました。特にコロナ禍では、次亜塩素酸水の有効性(製品にばらつきがあり濃度がすぐ低下してしまうこと)を発表、また、こども園での感染症予防に関するリーフレットを作成し、幼稚園に配布しました。専門家不在の教育機関において、リーフレットはわかりやすいと好評でした。昨今の学校現場は様々な課題を抱えています。学校薬剤師が環境衛生、くすり教育の両面から支えていけるよう、また新たなエビデンスがアップデートできる活動を山口県という枠にとらわれずに活動していきたいと考えています。ご理解・応援していただき感謝申し上げます。



正晃(株)
山口県薬剤師会
学校薬剤師部
宇部地域委員
小林 晃子
(55回生 1989卒
2007博士)

〈薬剤師活動〉 薬剤師主導の特定臨床研究による エビデンス創出への挑戦

このたびは、2024年度KP会星野尚美記念薬学研究・活動奨励賞という大変栄誉ある賞をいただき、光栄に存じます。本賞への応募に後押しいただきました木原紀子先生ならびに本賞の審査委員の先生方に心より御礼申し上げます。

私は2020年に、シスプラチンによる腎機能障害の予防に対するマグネシウム製剤の有用性を検討することを目的に、第Ⅱ相臨床試験を計画いたしました。この臨床試験は、臨床研究法に基づく特定臨床研究として実施しなければならないため、薬剤師が研究責任者を務めることができません。しかし、多くの研究協力医師に恵まれ、何とか無事に研究を開始することができました。特定臨床研究は、薬剤師が研究責任者になれないこともあって、薬剤師が主導で進めるケースは少ないですが、その意義は大きいと思ひ学会発表いたしました。この取り組みを評価していただき、その後の薬事日報での特集、国際シンポジウムでの発表と繋げることが出来ました。

今後は、この研究から得られた結果を社会に還元するとともに、特定臨床研究を薬剤師が主導する意義についても引き続き発信していきたいと考えております。



北里大学薬学部
講師
毛利 順一
(67回生 2001卒
2008院後修了)

■ 2025年度 活動奨励賞募集 ■

以下の3つの部門に分けて募集します。

1. 研究論文部門
2. 研究発表部門
3. 薬剤師活動部門

締切：2026年1月9日(金) 正午(なお、郵送は消印有効)
詳細はHPをご覧ください。

https://www.kp-dousoukai.com/hoshino/incentive_award/



IV. KP会支部会活性化事業

2024年度は、27件の「支部会」が開催されました。これらの支部会に対して、通信費の補助と、理事・監事の参加を希望した場合はその会費の補助を行いました。また、5月に開催した「支部長懇談会」への出席のために、支部長に対し、交通費を支援しました。2024年度の招待支部は東北地区、東海地区、近畿地区でした。

オフィスの「ない」をすぐにお届け!

たのめーる

オフィス用品のことなら、総合通販サイト「たのめーる」におまかせください。大塚商会ならではのPC本体・PC関連商品をはじめ、文具や日用品、環境対応商品も数多く取りそろえ、お客様の「困った」を解決します!

税込200円以上の購入で送料当社負担

200万点以上の品ぞろえ!

当日・翌日お届け!

たのめーる 豊富な品ぞろえのオフィス用品通販なら「たのめーる」 [検索] と検索ください!
大塚商会  <https://www.tanomail.com/>

株式会社大塚商会 東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

令和7年

第48回 未就業薬剤師研修会のお知らせ

主催：蒲田薬剤師会
後援：大田区

「未就業薬剤師研修会」は保険調剤に携わる薬剤師として必要最低限の心構えと知識を養成するために行っているものです。中でも重要視しているのは「調剤業務を通じて地域医療の一端を担う薬剤師」としての心構えです。

医療機関の前に薬局がある方が便利だという考え方もありますが、患者の家の近くにどここの医療機関の処方箋でも調剤が出来、適正な服薬指導が出来る薬局があれば、患者にとって最も便利であり、そうした薬局が患者の周りに多ければ多いほど「かかりつけ薬局」を選定する機会に恵まれ、「医薬分業」のメリットを享受できるはずで

す。目まぐるしく変わる診療報酬と調剤報酬の改正、薬価の改定など保険医療の変化は現在保険調剤業務に携わっている薬剤師も戸惑うほどです。

変化に取り残されないよう常に知識を新たにし、何時でも地域医療の第一線で活躍できるよう、未就業の方や、保険薬局勤務を希望している方を対象に、今年も研修会を企画しました。多数の薬剤師の方の参加をお待ちしております。

1. 日 時 9月、10月の土曜日。各日とも午後3時から5時。
(計6回。スケジュールの詳細につきましては、申し込みのあった方に郵送いたします。
講義の他に薬局実習あり。)
2. 参加費 テキスト代等の一部として7000円
3. 会 場 蒲田薬業会館 4F 会議室
東京都大田区蒲田 4-38-5 TEL：03-3732-1291
4. 申し込み・問い合わせ先
〒144-0052 大田区蒲田 4-38-5
蒲田薬業会館
蒲田薬剤師会 未就業薬剤師研修委員会
TEL：03-3732-1291
FAX：03-3732-3045

※宛先を書き110円切手を貼った返信用封筒を同封して資料を請求し、7月31日までにお申し込みください。尚、希望者多数の際は抽選とさせていただきます、8月中頃までに参加していただけるか否かをご連絡いたします。

募集

大田区内の薬局で働いてみませんか？
卒業生の方、多数就職されています。

問い合わせ先 蒲田薬業会館 岩間宛
TEL：03-3732-1291

着任にあたって

創薬研究センター ナノ医薬・分野横断遺伝学講座教授 **松崎 潤太郎**

慶應義塾大学薬学部KP会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年4月1日付で、創薬研究センター・教授を拝命いたしました松崎潤太郎と申します。私は2005年に慶應義塾大学医学部卒業し、慶應義塾大学病院、東京都済生会中央病院、国立がん研究センター研究所、およびカリフォルニア大学サンフランシスコ校での研鑽をへて2021年1月より本学薬学部 薬物治療学講座の准教授に着任し、細胞外RNAの機能解析と創薬開発に従事して参りました。薬学部における素晴らしい先生方と研究環境のおかげでこの4年間、AMED研究班での多施設共同研究など得難い経験をさせていただきました。創薬研究センターは塾内外の研究機関や企業との共創、そして成果の社会実装を掲げるセンターです。近年、アカデミアが主導するイノベーションの重要性が一層強調され、そのためには医学・薬学研究者のみならず、工学系、知財、経営など多様な専門性をもった方々との団結が不可欠です。当研究室においてそのような研究スタイルをリアルに体験した学生たちがこれからの予測不能な社会を堂々と切り拓くことができるよう、尽力して参りたいと存じます。皆様には何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(2025年4月記)



変わったものと、変わらないもの

衛生化学講座准教授 **中澤 洋介** (69回生)

2025年度より衛生化学講座の准教授を拝命いたしました。1999年に本学(共立薬科大学)に入学しました。後に学部長になられました増野匡彦先生や金澤秀子先生などが准教授(助教授)として教壇に立たれており、自分が同じ職位に就く日がくるとは夢にも思っておりませんでした。約25年間、薬学分野に携わり、その中で変化してきたものと変わらないものの両方を強く感じています。私の学生時代は、電話回線でインターネットに接続してテスト勉強をしており、試験前はコピー機前に行列ができ、FAXで予想問題が出回りました。今はSNSを使って瞬時に情報が手に入り、また過去問はAIがすぐに答えを教えてください。情報収集方法が大きく変わりました。学生時代、先生方と秋田屋から始まる飲み会で多くの学びを得ました。現代の学生は飲み会を敬遠がちと言われますが、誘えば多くが気さくに参加してくれます。『盃を交わすことで生まれる人間関係』は、勉強以上の価値をもつものと考えております。人間交流の重要性とお酒の偉大さ、今も変わらないものであると強く感じます。私は、これからも人間関係を大切にしながら、優秀な学生を輩出するべく努力して参る所存です。

(2025年4月記)



昇任のご挨拶

医薬品情報学講座准教授 **今井 俊吾** (78回生)

2025年4月1日付けで准教授に昇任した今井俊吾と申します。私は2012年薬学科卒業で、在学時は医薬品情報学講座 望月眞弓教授(現、名誉教授)、橋口正行准教授(現、東京慈恵会医科大学教授)の下、卒業研究に励み、研究の面白さを学びました。卒業後は「研究力のある薬剤師」を志し、北海道大学病院/北海道大学薬学部で10年間、臨床薬剤師・研究者としての研鑽を積みました。その間、多くの挫折を味わいましたが、いつも私を励ましてくれたのは母校からの応援と支援です。具体的には、望月先生、橋口先生はもとより、福島紀子先生、木津純子先生、大谷壽一先生、松元一明先生、秋好健志先生など多くの慶應の先生方から、学会のたびに激励の言葉を頂きました。また、2019年にはKP会星野尚美記念薬学研究・活動助成金を拝受し、資金難の研究が大きく前進、その成果を英語論文として公表できました。このような、卒業後も学生を支える素晴らしい教員とOB会の存在こそが、慶應薬学の強みと感じています。2022年、堀里子教授、木崎速人助教が運営する新しい医薬品情報学講座の一員となり、現在に至ります。これまで受けた支援を後輩達に還元すべく、昇任後も邁進して参ります。ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

(2025年4月記)



アイオワ大学での海外アドバンスト実習を通して

吉田 菜桜子 (91回生2025卒)

私たちは、アメリカのアイオワ大学で4週間の実習に参加しました。1週目は薬学生の授業への参加や地域薬局の訪問を行い、残りの3週間は現地の薬学生とともに病院実習に参加しました。アメリカのチーム医療を学ぶ中で、日本と比較して医療従事者の役割が非常に細分化されていると感じました。特に、アメリカにはファーマシーテクニシャンをはじめ、日本には存在しない職種が数多くあります。そのため、各職種が専門分野に専念し、専門外の業務を他職種に委ねる体制が整っていました。患者一人に対して全職種が大きな役割を担い、それぞれの専門知識や強みを生かしてチームに貢献する姿に刺激を受けました。

また、現地の薬学生も医療チームの一員として患者の治療に大きく貢献している姿を目の当

たりにしました。薬剤師がいない状況下でも、医師と議論を交わしながら薬学的なアドバイスをおこなう薬学生の姿が非常に印象的で、そのレベルの高さに圧倒されました。今回の実習は、日本の医療や薬学生の在り方に対する考え方を見つめ直す貴重な機会となりました。

最後に、この実習に参加するにあたりご尽力いただきました先生方や友人たちに、心より感謝申し上げます。



コンケン大学の海外アドバンスト実習に参加して

井上 真理 (91回生2025卒)

5週間のタイのコンケン大学の实習では、主にがん病棟で薬剤師のシャドーイングをし、ケースディスカッションに参加しました。他には、現地の薬学生と一緒にがんの講義へ参加したり、薬局を見学したり、タイの伝統医学について学びました。

実習を通して、活発なケースディスカッションや薬学生の豊富な知識に驚き、多くの刺激を受けました。タイでは、ディスカッションやプレゼンテーションの機会が豊富で、実習の機会も2000時間以上に及びます。能動的な授業を通して、知識を実践的に活用し、疾患を判断し、薬を選べる判断力を養っていると感じました。実際に薬局では薬学生が患者さんのカウンセリングを行い、適切な医薬品を提案している姿に感銘を受けました。また、加入している保険によって治療法を選択する場面にたくさん遭遇し

ました。本実習を通して、タイの医療について学びを深めるとともに、同じ医療を受けられる日本の医療体制や2年間の研究の機会がある日本の薬学教育の強みにも気づきました。

現地の先生方や友人が温かくサポートして下さり、かけがえのない5週間となりました。今後も様々なことに挑戦し、視野を広げていきたいと強く感じました。



イベントから

2025年 薬学部白衣式 2025・1・30

芝共立キャンパス大講堂において、薬学部白衣式が挙行されました。式典では、有田誠薬学部長による開会の挨拶に続き、金井隆典医学部長ならびに野末聖香看護医療学部長から医療人としての思いの籠った「餞(はなむけ)の言葉」が贈られました。また大谷壽一大学病院薬剤部長と山浦克典薬学部附属薬局長からは、学生を受入れる立場で、病院および薬局それぞれの実習における心構えについて訓示が述べられました。その後、有田誠薬学部長および中村智徳医療薬学・社会連携センター長から、一人ひとりに



慶應義塾のエンブレムを左肩にあしらった真新しい白衣が壇上で手渡されました。

厳かな雰囲気の中、

全員が一斉に白衣を着用した後、学生代表が「誓いの言葉」を読み上げ、その結びとして、『将来薬剤師として多くの人々の健康を支えることの出来る技能と精神を培い、医療人として大きく成長した姿で帰ってくることをここに誓います』という決意を表明しました。



最後に閉会の挨拶として、北川雄光常任理事より激励の言葉が贈られ、新たな白衣に袖を通した学生たちは、改めて薬剤師として臨床の場に参画する意味を心に刻みました。

2025年度薬局・病院実務実習は、2月17日(月)から開始となります。

《薬学部ホームページより》



<撮影：慶應義塾広報室>

OB・OG懇談会 2024・10・12

毎年開催しているOB・OG懇談会は、コロナ禍以降はオンラインでの開催としておりましたが、今年度は5年ぶりの芝共薬祭と同日の開催となりました。オンラインでの開催は遠方のOB・OGが懇談会に参加できるといったメリットがある反面、塾生の参加が少なくなるといったデメリットがありました。今回は、参加してくださるOB・OGを集めるのに苦労しましたが、11名の卒業生の方にご協力いただきました。

当日は約40名の塾生に参加いただき、Face to faceならではの非常に賑やかな会になりました。塾生が先輩方の話を真剣に聞き、沢山質問

をしている姿を見て、開催してよかったと心から思いました。

今後はこの回に参加して下さった塾生が次の後輩に話す立場として懇談会に参加していただき、三田会の輪が広がることを願っております。

KP会理事 芳賀勇太(84回生)



会員だより

歯科からの食育～かむかむSmileより～

新谷明美 (52回生)

私は、夫と共に歯科医院から食育をしたいという想いで医院に隣接して「食育クッキングスタジオ かむかむSmile」を立ち上げ、2018年より食育活動を行っています。

予防型の歯科医院であり、「患者さんに歯だけではなく身体全体が健康になってもらいたい」という理念のもと長年メンテナンスに通ってくださっている患者さんと接していく中で「食が大切である」という所に至り、今の活動をするようになりました。

かむかむSmileにて実際に行っている食育活動をご紹介します。

1. 管理栄養士と歯科衛生士による離乳食教室

最近はおしゃべりな子が増えており、『口腔機能発達不全症』という病名もできたほどで、歯科医院でもそれに対する対応も必要となっています。

離乳食期は噛むことを憶えていく時期。栄養面だけでなく、噛める子を育てるためその時期にこそ気をつけて欲しいことをお伝えしています。最近ではネットなど情報過多であり、実際に子育てをしているママやパパもうまくいかない子育てに悩んでいる方も少なくないです。実際に試食をしながらお話をお聞きし、それぞれの方に寄り添って悩みを共有します。少しでもママたちの力になればと思っています。

2. 食育スクール「青空キッチン」

一般社団法人 日本キッズ食育協会（千葉県柏市に本部があり全国80数箇所にて開校 2024年現在）にてキッズ食育マスタートレーナーの資格を取得し開校し、現在30名ほどの子どもたちが通っています。

3歳から小学生を対象にした月に2、3回の継続型の食育スクールで、「正しい食は子どもの未来を輝かせる」という理念のもと料理を通

じて五感を育み、考える力や表現力、社会性などを養います。

好き嫌いを克服したり、グループで協力しながら調理をすることで思いやりや協調性も身につけます。継続して通ってくれることで、子どもたちの成長を見ることができ、今の私の楽しみになっています。

また、地域子育てセンターでの食育講座、市からのご依頼で、小学校で地元野菜を使った味噌汁作りの食育体験の提供、県内での保育士や教師の方々へ子どもたちの口腔機能を育てるための講演なども行ってきました。

その他に、講師を招いての親子での味噌作り、お菓子作り、富山県の郷土料理かぶらずし作り教室など、食を楽しむワークショップを企画し行っています。

これからも赤ちゃんから子どもたち、大人の方へ、食の大切さ、楽しさを伝える活動を続けていきたいと思っています。

薬剤師という仕事も、そして今の活動も、皆さんに健康になってもらいたいという想いは共通しているのではないかと最近感じています。

歳を重ねるにつれ、「自分の健康も含め皆が少しでも元気に過ごすことができれば。」と日々思いながら、私ができることを続けていきたいと思っています。



身近にいる絶滅危惧植物

小金沢 かおり (61回生)

「絶滅危惧植物」と聞くと、皆さんはどう思われますか？もう目にすることが困難なのは、と不安になるかもしれません。しかし、教えてもらって初めて見た時は、身近に存在することに興奮しました。そこで、皆さんの普段生活しているすぐそばにいる、「絶滅危惧植物」のことを知っていただけたらと思い、一昨年の方城支部会(2023/9/10)でお話した内容の一部をご紹介します。

私の住んでいる東海村は、太平洋に面しており、昔から海と共存してきた歴史があります。



海岸の砂地に生えている「ハマボウフウ」は、清々しい風味から、刺身に添えたり、湯がいて酢味噌に和えたり、天ぷらにしたりと美味だそうです。今では、食材としてわざわざ採りに行くようなこともなくなり、知る人も減って、食文化としても消え去りそうだと近所の方から伺いました。

海岸に近い松林の砂地に生える「オオウメガサソウ」は、お隣のひたちなか市が南限です。現在、村内では原子力施設内でしか確認されておりません。写真は、毎年調査されている関係者から頂きました。オオウメガサソウエキスは、医薬品の成分として活用されているので、興味深く感じています。



砂浜にもきのこが生えます。「アカダマノオオタイマツ」は、オレンジ色なので夜明けにはニョッキとして目立ちます。昼前にははしおれてしまうので、元気な姿を見られるのは地元ならではです。2022年筑波実験植物園「きのこ展」で、海岸の植生を保護する大切さの解説とともに取り上げら

れました。

なお、「絶滅危惧植物」については、環境省や都道府県が公表しています。市町村単位では少ないようですが、東海村では2018年に「東海村の自然史Ⅱ」という自然調査報告書を発行しています。今回取り上げた植物に限らず、地域や環境が変わると、絶滅危惧ではなかったりカテゴリーが異なったり、外れたりすることも考えられます。実際、東海村で、環境保全のための下草刈りをしたら、「キンラン」も毎年見られるようになりました。



私は、学生時代の「植物班」でやり残した想いがありましたが、今では自然観察仲間と一緒に部活のように楽しんでいます。このような市民科学的活動の中から、変種や新種も見つかるかもしれないと期待もしています。

日本全国にいらっしゃるKP会会員の皆さんも、お住まいの地域の自然環境資料を取り寄せて、お散歩しながら「絶滅危惧植物」を探してみたいかがでしょうか。

三田会大会 実行委員として参加して

小林 真紀 (60回生)

2024年10月20日、日吉キャンパスで開催された連合三田会大会の実行委員として参加させていただきました。卒業後2回目のお手伝いで、忙しい中集まって下さった4名と共に、イベントのお手伝いをさせて頂きました。今回は、「ドクターに挑戦」という医学部同窓会（三四会）イベントにおいて、受付、子供達の誘導、記念品のお渡しなどのお手伝いをさせて頂きました。イベントでは、子供達が大人の手術着を身にまとい、現役



医師のもと、縫合、腹腔鏡手術の操作などを体験しました。皆目を輝かせ、真剣にお話を聞

き、取り組む姿には、これからの医学の道も明るいなと感じました。また緊急対応シミュレーションでは、医師と子供達が協力して心肺蘇生、声かけをし、医療の世界の一部を体験していました。私たちスタッフもこのような素敵なイベントで、一生懸命な子供達の姿、様子を見ながらお手伝いができたことは、とても良い経験になりました。



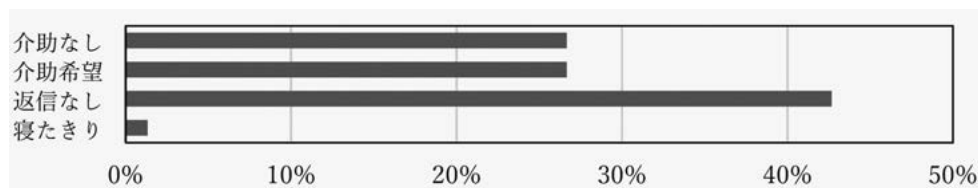
27回生の皆様へ（アンケートの結果から）

小川 芳子 (27回生)

27回生は昭和36年(1961)に、およそ130名が卒業しました。今、同窓会名簿から連絡できる人は76名です。金湖博子さんが2020年4月に亡くなられたと聞きましたので、75名で計算いたします。

今でも薬局を2人の方（筑西市の大武さん、諏訪市の岩波さん）が続けていらっしゃいます。十日町の鈴木さんは、2024年8月31日に薬局を閉じられたそうです。75名中、返事を下さったのは43名です。43%の方から何の返事も頂けないのは、いつもアンケートなどで普通のことですから、一般的なことなのでしょう。ほとんどベッドの生活をされていたのは1人だけでした。20名の皆さんはお元気で、それぞれやりた

いことを持ち、それを続けるために飛行機や新幹線を使ってでも動いていらっしゃいます。それ以外の20名はご自分の体をいたわりながら、周囲の人の手助けを得てゆったりと動いていらっしゃるという形で、私たちの年齢の生活ではないでしょうか。「年1回でも嬉しいので、ちゃんとお目にかかれる時を作って欲しい」との希望が30%あります。10~20人が集まると考えると5月か6月の第1水曜に芝パークホテルでと決めておくのがいいかもしれません。その昔、宮本先生が病気などしなければ、120歳が生きられる年齢とおっしゃっていましたので、私たちにはまだ、10年はあるかもしれません。また、ご連絡いたしますね。



学年会報告

学年会を開く時にはKP会事務局までお知らせ下さい。
宛名タックシールをお送りいたします。

25回生(米寿を迎えた方も元気に) 2024・10・16

芝パークホテル

例年の通り芝パークホテルで開かれたクラス会には予定された15名が揃って出席いたしました。

欠席のご返事があった方の中には、ご家族の介護中である方が数名ありましたが、ご自身が外出に不安があるのでと自重された方の方が多かったように思います。

今回は昨年返信のあった方を中心に52名に案内状を送付しましたが11名の方から返信を頂くことが出来ませんでした。

三つのテーブルに別れて着席すると、すぐに弾けるような会話で盛り上がりました。近況報告では、それぞれが周囲の支えに感謝しながら生き生きと生活されていました。ボランティア活動をしている方、本格的なダンスを続けている方、最近運転免許の更新をされた方など「高齢者」という言葉をしばし返上したくなる

思いでした。

令和7(2025)年は10月15日(水)に同じく芝パークホテルでクラス会を開催することになりました。

幹事は、満井美子さん、土地素子さん、宮本敏子さんです。

今回はクラス会終了近くに山崎淳子さんが顔を出され皆とお話することが出来ました。長く座ることが困難な方でもこのような参加も出来るのだと気付かされました。

雨宮 川口 木戸 記



学年会



28回生 2024・5・17

芝パークホテル

芝パークホテルにて、2024年5月17日(金)、12時~14時、案内状は主に近隣のかたに送りましたが、毎回出席している方でも遠方の方には送りました。

コロナによって4年近くの空白がありました。私達は84歳となりどのくらいの方が参加して下さるか不安でしたが、20名ぐらいと思っていましたが、27名も参加して下さいました。乾杯後、1人ずつ近況報告となり、久しぶりでうれしいと云って下さる方が多くいらっしゃり涙ぐんでしまいました。今回で公的な学年会は終わりにしますが、来年も集まりたい

との希望が多く、2025年5月16日(金)11:30、芝パークホテル・ザ・ダイニングに各自集まり、ランチを注文して、歓談する形にしました。お世話係ということで2人の方が立候補して下さいました。来年も元気でおいでできることを楽しみにしております。

堀江 記



31回生 2024・5・31

横浜ロイヤルパークホテル

令和6(2024)年5月31日学年会を開催いたしました。台風の影響があるかもしれないという予報でしたが、当日は何とか雨もなく薄曇りとなり、ほっといたしました。みなとみらい21の中の会場からは、ベイブリッジや大栈橋埠頭などといった、これぞ港町という風景が一望できました。COVID-19以来ということもあり5年ぶりの開催にもかかわらず、大阪、名古屋や盛岡といった遠方からの方々も含めて、総勢19名の参加となりました。それぞれの近況報告をいただき、エネルギーの高さにびっくり。まだまだ現役で活躍なさっていたり、ピアノ・麻雀・パターゴルフ・囲碁・合唱・茶道などといった

趣味に励んでいらっしゃるなど、改めて共業パワーを感じました。3時間の楽しいひと時の締めくくりは、若々しく力強い歌声の校歌斉唱となりました。一応、今回が最後の学年会の予定でしたが、やはり、何らかの形で絆をつなげていこうということで、またの機会を楽しみにしております。 幹事 浅井 河上 潮崎 記



32回生 2024・5・22

横浜ニューグランドホテル ル・ノルマンディ

風薫る5月22日、ばら満開の山下公園、海を臨むル・ノルマンディで昨年度に続き学年会を開催いたしました。共立薬科大学で、4年間共に学んだ学友達、後、幾度会えるだろうかという思いで傘寿の会后、一年足らずの会となりました。卒後、58年の現在、同期の皆様はゆったりとお孫さん相手にのんびりとお過ごしの方、現役でご活躍の方、半分仕事あと趣味を楽しんでいらっしゃる方、ご主人様の介護で忙しくお過ごしの方様々な日々をお過ごしです。そして女性の方が長寿なのでお一人でお過ごしの方もとても多くなりました。卒後の日々、現状、これからの事等々、おしゃべりに花を咲かせつつゴージャスな雰囲気の中で、メインソムリエを始めスタッフの方々の行き届いた、暖かなサービスのフレンドリーなコースを堪能して最後に共立薬科大学の校歌をル・ノルマンディに響かせて3時間の一次会終了となりました。そし

て山下公園の満開の薔薇を楽しみ又、ニューグランドホテルに戻り1階でお茶とお喋りに興じて散会いたしました。皆様とても80歳、81歳に見えず人生100歳の時代に近づきつつあるのだということを実感いたしました。ゴールデンエイジ?!の80代の脳のきしみ、身体の軋みを手当しながら日々をできるだけ元気に楽しくかけがえのない青春時代の4年間共に過ごした同期の皆様と又思い出と人生を語り合いたいと思いつつ家路につきました。 座安 記



33回生 2024・10・5

芝パークホテル

10月5日(土)あいにくの俄雨の中、共薬のお隣パークホテルで同期会。大学時代高嶺の花でいつかこんなホテルで食事できたらなんて思っていた所に23名が集まり3つのテーブルに別れてはいましたが「アラー懐かしい」の声があちこちでかれました。79歳と80歳には見えない若々しさ。日進月歩の科学の世界でそれぞれ学習しながら仕事を続けていたすばらしさに感服。もちろんトシにはかたず、目が、耳が、脚がと何かしら不調なところもありながら、子どもや孫の話に花が咲きました。私達が卒業する時に建設が始まった世界貿易センタービルが老朽化で現在建て替え中なのを

考えると、もっと老いを感じてもよいはずですがそれぞれに老後などと言わず今を大いに楽しんでいる様子でした。幹事の方のご苦勞を思いながら「また会いましょう」で散会。体の動く限り出席したいと思いました。 市岡 記



学
年
会



34回生 2024・4・20

東京プリンスホテル

今回の学年会は令和6(2024)年4月20日(土)に昼食会を開催しました。春の行事の多い時期でもあり参加が懸念されましたが、北は札幌から南は宮崎まで遠方からは10名の方が、首都圏からは24名、合計34名が集い盛況となりました。始めに同級生の中から長年ケアマネジャーをされていた安藤様に介護保険利用の詳細な解説、医学アカデミーの学長をされている木暮様には薬学教育のup to dateをshort lectureしていただきました。介護に関してはもはや他人事ではない世代の私達にとって有益な情報をいただきました。薬学教育の現況と最先端情報では自然災害の多い昨今、現場での実践実習をはじめとして多岐に渡る実務実

習が行われていることをお聴きし、一同得心がいく思いをいたしました。当日は天候にも恵まれ新緑の薫る中につつじが咲き始めた芝公園で集合写真を撮り、次の再会を期して散会しました。その後は小グループに分かれて2次会、3次会もあり楽しい一日を過ごしました。

小林(加藤) 関(熊谷) 記



36回生 IN名古屋 2024・10・24

ノリタケの森レストラン キルン

コロナ禍を経て5年ぶりの学年会を10月24日(木)正午から開催し、遠く函館から山口からと、総勢22名の参加となりました。(欠席の皆様も、近況報告等ありがとうございました。)

当日、入学式の集合写真をご用意しておいたのですがB4版に拡大された写真の中から新入生のご自分を探し出すのを楽しみました。なかなか見つからないところを、ご本人でなく別の方が見つけたり、懐かしい友の面影のまますぐわかる方など。立ち位置がおもいがけなかったなどと。また、当日のお天気が曇っていたとか、入学式の日それぞれの記憶の断片がまるでジグソーパズルみたいに埋められていきました。入学式の日からもう60年近くになります。それからはじまった大学生活。青春の日々と、懐かしい話題がつきません。

お子様やご主人ご家族など大切な方を失くさ

れた方々。ご自身の体調が悪い中、あるいは術後余りたたずにご参加いただいた方など、皆様それぞれがそれぞれの深い人生の歩みを経て、でも、とりあえず名古屋までお出かけいただき、一緒に食卓をかこむことが出来ました。

「この年になるといつどうなるかわからないから、学年会は毎年。」とのご意見があり、賛同も多く来年開催となりました。次の幹事を宗像(福沢)さんがお引き受けくださり、早速計画。令和7(2025)年10月30日(木)東京ステーションホテルです。

36回生の皆様 元気でお目にかかりましょう!

清水(森下) 記



41回生 2024・9・29

ホテル インターコンチネンタル東京ベイ ラ・プロヴァンス

令和6(2024)年9月29日(日)記録的な残暑が落ち着き、あいにくの曇り空。オリンピックの年に開く予定が、コロナ禍で遅れようやく開催できました。

東京湾を臨む竹芝駅直結のホテルに47名の元気な顔が集まり、受付と同時に会話が弾み、近況報告を聞きながらフレンチのフルコースを堪能いたしました。



今も現役でお仕事をされている方、卓球やジムで体力作りに励む方、アメリカまで野球観戦に行かれる行動力のある方、それぞれ前向きに過ごされているように感じました。集合写真撮影後、時間の許す方は二次会に参加し、時の経つのも忘れ学生時代の話などで盛り上がりました。驚くことに来年卒後50年ということで、その時の再会を約束し帰路につきました。

元気と勇気をいただき、次回の集まりでより多くの方の参加があることを願っております。

野崎 記



42回生 2024・11・3

崎陽軒本店

晴れの特異日11月3日に横浜で開催致しました。前日、台風崩れの低気圧が通過して山陽新幹線が運休になった為に、やむなく不参加になってしまった方もいらっしゃいましたが、当日は本当に良いお天気になり北海道から鹿児島まで48名の方が出席して下さいました。当初企画していたお泊り会はコロナ禍で流れてしまい、6年ぶりのランチ会となりましたが、6年の空白はあつという間に埋まり、すっかり学生時代に戻って、大変盛り上がりました。現役バリバリで仕事されている方、趣味の時間を楽しまれている方、皆様の近況を伺いながら、たくさんの刺激を受けた2時間となりました。心配していた次回の幹事も「同期会をやめたくない」という声を受



けて、6名の方が手を挙げて下さいました。卒業して48年、今回初めて学年会に出席して下さいました。「次回も必ず出席するね」という、うれしい言葉をいただきました。次回は多くの同期生が集まり、楽しい時間を共有できますように。健康に留意して、また、お会いしましょう。

幹事 小野 高野 永島 渡辺 五十嵐 記



44回生 2024・11・9

芝パークホテル

ようやく秋めいてきた2024年11月9日(土)、5年ぶりに学年会を開催することができました。

2019年に幹事を引き継ぎましたが、2年後の開催となる2021年は新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、やむなく延期しました。2023年5月8日に同感染症が2類相当から5類に変更になり、学年会開催の要望も出ましたが、なかなか踏み切れず、ようやく2024年になって開催に漕ぎつけました。

北は北海道、南は佐賀県から、山口県、香川県と、遠方からも駆けつけてくれました。総勢38名のこじんまりとした会でしたが、皆さん懐かしさから、司会者の言葉がかき消される程、お話に華が咲いていました。とても盛り上がっ

た会になり、美味しいお料理と共に良い思い出になりました。

会場の芝パークホテルへ向かう道中、懐かしいお店は数えるほどになり、ほとんどが様変わりをしていましたが、共楽の校舎が見えた途端に、50年前の記憶が蘇りました。

次の同窓会では、大半の方が古希を迎えます。より多くの方が集まり、賑やかな会になることを願っています。

中屋 記



46回生 2024・5・12

神楽坂ラリアンス

風おおる若葉の季節、お天気にも恵まれ「46回生の集い」が、開催されました。

2024年5月12日(日)神楽坂に、北は岩手・山形、南は福岡・広島・島根から参集された53名の方々。ちょうど母の日ということで、母の日休暇をもらって参加したという方もおられました。

懐かしい思い出に話が弾み、コロナ禍を挟んで6年ぶりということもあり、あちらこちらから明るい笑い声が聞こえてきます。進行途中には楽しいイントロクイズもあり、美味しいフレンチコースのお料理も相まって、さらに話に花が咲き、和やかな時間が流れていきました。

今回残念ながら参加して頂けなかった方々、次回お逢いできれば嬉しいです。7年後に開催されるであろう「卒後50年のつどい」まで元気でいよう、その前に古希記念学年会

(4年後)を開きましよう、申し合わせて散会となりました。

どうしてるかな？ 元気かな？ とふっと思えば、それは学年会という名で繋がる絆かもしれません。

その様な絆に紡がれた、46回生の方々の輝く笑顔に心から乾杯！

中道 記



47回生 2024・11・17

栄華桜新館

2024年11月17日(日)、天候にも恵まれ、36名の参加で学年会を品川の栄華桜新館で開催しました。

会場は、当初予定していた店舗のビルが休館ということで、本来なら駅近の店舗から、駅か

ら徒歩10分の店舗に変更になってしまいましたが、みなさん、迷わずに来店してくれました。

コロナ禍もあり、5年ぶりの学年会でしたが、みなさんすぐに笑顔の再会を喜び、大いに食べ、飲み、笑って、しゃべって、楽しい時間をすごしました。

集合写真は、お店近くの公園で撮りました。

みなさん、いい笑顔です。

幹事 林 記



宮島 岩惣

今年の夏の厳しい暑さを何とか乗り越えて、一年で一番心地よい時期に、G7広島サミットが行われた宮島の老舗旅館『岩惣』にて、35回生の同窓会を開催することができました。

広島ということもあり、参加者は20名と少なかったのですが、観光も兼ねて遠方からの参加もあり大変盛り上がりました。

参加者の半分の方は、まだ現役で頑張っておられ、薬剤師は良いお仕事だと改めて感じました。一方、出来た余裕時間を使い、趣味にボランティア活動に、旅行にと楽しんでいる方も、ご家族のお世話が忙しい方も…何歳になっても学生時代のように会話が弾み、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

次回の開催を東京の方が引き受けてくださり、皆それぞれ健康に留意して東京での

再会を約束、名残惜しい別れとなりました。

その日の『岩惣』の宿泊は32組ということでしたが、そのうちの日本人は3組のみとのこと。フロントの年配の方も流暢な英語で対応されていて、時代の変化を感じました。円安で海外の方にはよい状況なのですね。

紅葉には少し早かったのですが、そこは日本三景のひとつ、いつ見ても美しい宮島でした。

村上(佐藤) 記



2025 10.19

2025
慶應連合三田会大会
日吉キャンパス
にて開催!

慶應義塾の卒業生(塾員)が秋の一日、キャンパスに集って楽しむ伝統の連合三田会大会。卒業10年ごとに当番が回ってくるので世代を超えた社中協力が生まれる源泉です。慶應義塾は卒業してからが本番(?) 思い立った時から連合三田会大会に参加しよう!

2025年
大会スローガン&
テーマ

2025

慶應連合三田会大会

豪華景品が
当たる福引

有名店による
模擬店
(塾員経営多数)

大会オリジナル記念品
各種セミナー
講演会
etc.

参加等、お問い合わせは
2025年 慶應連合三田会大会 実行本部
honbu@2025.rengomitakai.jp

公式SNS

2025 慶應連合三田会大会
公式ホームページ

慶應連合三田会
公式 LINE

慶應連合三田会
公式 facebook

慶應連合三田会
公式 instagram

41万人の塾員が皆様をお待ちしております! 10月19日(日)はぜひ日吉キャンパスにお出かけください!

HOTEL Mt. Fuji

SINCE 1963

Fujikyu Group

富士山を見るために建てられた
大人の極上リゾート

1963年7月 山中湖畔
標高1104メートルの大出山山頂に
「富士山を見るために」
ホテルマウント富士は誕生しました
ホテルから見える
山中湖の美しき湖面と雄大な富士山…
その景色こそがまぎれもなく最大にして
他にはないオンリーワンの魅力です



山中湖畔
ホテルマウント富士

ご予約・お問い合わせは

TEL 0555-62-2111
<https://www.mtfuji-hotel.com>

ご予約がお得な
公式サイトはコチラ



慶應義塾大学薬学部(共立薬科大学)KP会同窓会 & 埼玉東、埼玉西、茨城、栃木、群馬、中野・新宿合同支部会(共催)

2024年9月22日(日)、第57回日本薬剤師会学術大会開催に合わせ、KP会と埼玉東西支部共催の合同支部会が東天紅JACK大宮で開催された。会場の大宮は新幹線を含む路線交通の便が非常によいため、賛同支部からの参加者も多く49名参加(埼玉東13名、埼玉西6名、茨城6名、栃木5名、群馬5名、中野・新宿5名、本部4名、一般5名)の盛会であった。高橋会長の挨拶に続き、小暮顧問の乾杯で開宴。学生時代の思い出に始まり、大学の変遷、現在の仕事や生活など話は尽きず、また合同開催ということで、年代のみならず支部を超えた会員同士の新たな交流が出来たことが良かったと思う。プログラムは各支部長の挨拶、出席者の近況報告と滞りなく進み、辻村副会長の閉会の辞をもって終了。その後全員で写真撮影を行い、名残惜しい中、お開きとなった。中心監事の渡邊埼玉東支部長、松谷埼玉西支部長には、お忙しい中QRコードを使っての出欠案内や大人数の会場探し、賛同支部のとりまとめ等大変な業務を担っていただいた。この場を借りて感謝申し上げたい。 KP会理事 木原紀子(52回生)



ご案内

慶應義塾大学薬学部(共立薬科大学)KP会同窓会 & 関西合同支部会(共催)のお知らせ

2025年10月12日(日)、13日(月・祝)に京都市で第58回日本薬剤師会学術大会が開催されます。この機会に会員の皆様と旧交を温めたく、下記の通りKP会同窓会 & 合同支部会を開催いたします。

刃刀滋賀支部長を中心に関西6支部で準備を進めております。全国の会員の皆様にもご参加いただきたくご案内申し上げます。学会参加の有無は問いません。是非とも盛会になりますようご参加お待ちしております。

記

日 時：2025年10月12日(日)18:30~21:00
場 所：ホテルグランヴィア京都 千載の間
会 費：9,000円(10,000円のところKP会が1,000円負担)

共催支部所属の方には、案内葉書が送られますので、そちらへご返信ください。
共催以外の支部所属でご参加希望の方は、お手数ですがKP会事務局までご連絡ください。
(電話：03-5400-2688 メール：info@kp-dousoukai.com 締切日：9月12日)
なお、宿泊をされる方は、ご自分でご予約ください。

埼玉東 2024・9・22

東天紅JACK大宮（合同）

2024年9月22日（日）、埼玉県さいたま市（大宮ソニックシティ、さいたまスーパーアリーナ、パレスホテル大宮）で開催される第57回日本薬剤師会学術大会に合わせて、KP会同窓会と6支部（群馬、栃木、茨城、中野・新宿、埼玉東、埼玉西）による合同支部会が開催されました。幹事支部は埼玉東、埼玉西です。埼玉東支部は会員数861名、埼玉西支部は301名合計1162名です。埼玉東参加者14名。準備におきましては本部様、事務局様、茨城支部、栃木支部、群馬支部、中野・新宿支部大変お世話になりました。

当日、高橋会長からご挨拶をいただき、木暮顧問乾杯の音頭でスタートしました。着席スタイル、各テーブル大皿中華コース料理、

フリードリンクです。お伺いすることが少ない、貴重な他支部長によるあいさつ近況に続き、各テーブルいろいろな世代の人が集まり歓談していただくとともに、ワイヤレスマイクにて各自近況報告をしていただきました。本部経由の他支部の方、当日参加の方もいらっしゃって気楽に参加できてよい機会でした。隣の部屋では明治薬科大学、他大学も会場近場で懇親会が開催。そういう中で、慶應義塾大学薬学部（共立薬科大学）も学術大会に参加不参加に関係なく当日、懇親会ができましたことを感謝申し上げます。

渡邊(47) 記



埼玉西 2024・9・22

東天紅JACK大宮（合同）

令和6（2024）年9月22日、合同支部会が行われました。総勢49名、埼玉西支部からは6名参加となりました。

第57回日本薬剤師会学術大会が初の埼玉の地で行われ主催県としての開催です。翔んで埼玉で有名な？埼玉県。学術大会参加があり18時からの開始だったため遅れての参加もありましたが、楽しい時間を過ごしました。支部内での出会いや他県の同級生や先輩後輩にも会うことができ意義のある会になりました。準備期間から他県の支部長の方との交流があ

り、単独での開催とは一味違うものになりました。埼玉県は会員数が多いのですが参加者が少ないのが悩みどころです。次回は居酒屋などで気楽に参加できる会の開催を考えていますので是非ご参加ください。

松谷(52) 記



茨城 2024・9・22

東天紅JACK大宮（合同）

昨年度から、埼玉東西2支部の支部長さんから合同開催のお誘いをいただき、茨城支部は早速手を上げました。本部とのやり取りも含め、とりまとめをしていただいたお二人の支部長さんには大変お世話になりました。従前の支部会よりも出席者は6人と少人数でしたが、6支部合同であり、本部からも沢山ご出席をいただいたので総勢49人の会合となりました。

会場は、大宮駅に隣接した東天紅JACK大宮店で、18階からの眺めもステキなところでした。

高橋会長からKP会の活動等のお話があり、各支部長の挨拶の後、懇談となり、生き生きと活躍されているみなさんとたくさん意見交換

が出来ました。

認知症カフェの活動や薬局での患者さんとの交流、太極拳が精神的にも良いことなど、新たな情報もたくさんいただきました。

2025年は、水戸で、10月の日曜日に開催予定です。茨城支部の皆さん是非ご参加ください。

小林(47) 記



栃木 2024・9・22

東天紅JACK大宮（合同）

「日薬学術大会後の埼玉東西合同支部会にご一緒しませんか？」と3月頃に支部長LINEでお誘いされ、5月の支部長会で説明があり「埼玉東、埼玉西、茨城、栃木、群馬、中野・新宿」6支部合同支部会開催が決まりました。コロナの時期に集まりを自粛しており久しぶりの再会、近年の栃木支部会は年齢が上がりお馴染みの顔ぶれだったので違った場面での幹事の考えで参加しました。大宮での夜の開催のため通常の前輩方の出席が少ないのは寂しいことでしたが、若い方や初めての方の出席もありいつもとは一味違う楽しい会でした。各支部の出席者も埼玉東以外は5～6名とやや少なめでしたが本部を通じての自由参加等もあり地域の垣根を越えての会で新しい試みとして成功だったと思います。

各支部の挨拶で栃木は宇都宮の餃子や路面電車LRT、あしかがフラワーパークや足利学校、日光や那須などを紹介しました。懇談では若手

の活躍から元気ももらいました。若手と言っても十数年のキャリア、当人たちは「若い?？」でしたが。

前支部長は、事情があり親と暮らせない子供と親との面会の立ち合いというお仕事をされており、皆でその話に聞き入りました。薬剤師でなくとも各自がいろいろ活動をされており世代を超えてその話を聞けるのが支部会の良さで、他県出身の私も今では支部会を通じ地元民となり支部長まで引き受けました！

今後の支部会の発展を心より祈念いたします。

埼玉東・西支部の幹事様、お世話になりました。

村山(42) 記



群馬 2024・9・22

東天紅JACK大宮（合同）

2024年9月22日に第57回日本薬剤師会学術大会が埼玉県の大宮で開催されるのに伴いKP会同窓会と埼玉東、埼玉西、茨城、栃木、群馬、中野・新宿の6支部合同支部会が開かれました。

会場は大宮駅近くの「東天紅JACK大宮」で時間は18時からでした。

埼玉東から14名、埼玉西、茨城からそれぞれ6名、群馬、栃木、中野・新宿からはそれぞれ5名、KP会本部から8名が参加し49名の盛大な会になりました。

自己紹介では先輩や同期生また後輩の近況など聞いて貴重で楽しい時間でした。会場のあちこちでは盛り上がっていて賑やかで2時間が短く感じました。

合同支部会は考えたことはありませんでしたが埼玉支部の支部長さんから声をかけていただき参加することができ大変良い経験になりました。参加に

あたっては埼玉東・埼玉西の支部長さんには大変お世話になりました。この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

新型コロナが5類になり世の中も落ち着きを取り戻してきたので、今後感染症対策はしつとも支部会の開催がしやすくなったと感じます。近況報告をしたり食事をしたり普通に行っていた支部会がどんなに幸せなことだったかをこのコロナ禍で学びました。

いつまでも平和な当たり前の支部会ができることを願っております。 濱田(42) 記



中野・新宿 2024・9・22

東天紅JACK大宮（合同）

2024年5月KP会総会 支部長懇談会において9月22日のKP会 合同支部会の案が出された。単独支部会開催が滞っていた中野・新宿支部はその案に乗った。

早速「翔んで埼玉」というグループLINEができ、埼玉西と東がお世話役になり、着々と準備が進められた。会場の選定から会費の決定、当日の道案内まで、とてもきめ細やかな準備により合同支部会は6支部の参加で盛り上がった。他支部の同期をはじめ、同窓という絆でご縁が繋がった方々が、各支部の大きな収穫であったと思う。

中野・新宿支部は、参加者は5名と少な

かったが、40代から70代まで幅広く集まり、80代の先輩が日にちを勘違い?!というハプニングも笑いでまとめて、楽しいひと時となった。たとえ少人数でも細く長く続けることがもっかの目標。 本多(42) 記



北海道 2024・9・7

ホテル マイステイズ札幌アспен

本年も参加者14名で無事に支部会を開催することができました。今年度は出欠の確認方法に新たな取り組みがありましたが大きな混乱もなく返信をいただくことができました。参加者最年長の北恒子先生(28回生)もFormsにて返信をくださり、新しいことに挑戦し続ける先輩の素晴らしい姿に本学の精神を見た思いがいたしました。当日はKP会本部より佐藤淳子監事(56回生)が参加くださり、KP会のしおりを見ながら、新たな取り組みや大学の様子などをお話しいただきました。例年通り、お悔やみ報告、支部会役員の紹介、会計報告の後は美味しい食事を楽しみつつ、テーブルスピーチを行いそれぞれの近況報告を致しました。本学の新旧校舎の映像を流しつつ校歌斉唱し、新井進一66回生の音頭で地元球団が勝利の際に行う一丁締めを行い、一年後



の再会を皆で約束し閉会となりました。本年は監事の参加に伴い名札を着用しましたが、北海道支部会は参加者同士がお互いの名前と顔が一致し合うアットホームな支部会です。本年度欠席の会員様、参加を迷われている会員様は次年度は是非ご参加いただければと存じます。質問があれば支部会のアドレスkphokkaido@gmail.comに気楽にお問合せください。 時野(56) 記



山形 2024・10・27

ホテルメトロポリタン山形 最上亭

前回は東北合同支部会としての開催で、2年ぶりでした。山形支部は現在48名、出席者は支部長、幹事を合わせて7名でした。自己紹介、近況報告をしました。今回は出欠確認を往復はがきとQRコードを使っての両方で行いました。QRコードを使用しての方は1割もいませんでした。どちらも同じ内容にしましたが、はがきでの返信には近況報告に何かしら書いて下さる方が多かったです。会の時間、返信ハガキとメールを回覧し、「はがきの方が手書きの温かさを感じる」「近況が分かりやすい」「懐かしい」といった意見が上がりました。電子媒体の便利さもありますが、手書きの良さを感じたところでした。一方で、郵便代が85円に値上がり、往

復となるとその出所はどこからと悩んでしまいます。

会の後、話足らず、近くのファーストフード店で談笑もしました。次の支部会開催は令和8年11月を予定しています。是非、ご参加ください。お待ちしております。 渡部(68) 記



福島 2024・9・29

郡山ビューホテルアネックス SPOON

辻村副会長をお迎えし12名が参加、支部会が和やかに行われました。

16年間お勤め頂いた竹石支部長が本総会をもって支部長職を引退することとなり、新たに藤田元(74回生)副支部長の支部長就任が承認されました。

これまで福島支部会の総会はコロナ渦の影響により開催が見送られており、6年ぶりにリアルでの開催となりました。久しぶりに旧友や先輩の皆様と再会し、懐かしい思い出話や近況の報告に花を咲かせることができ、大変うれしい機会となりました。特に近況報告では、お孫さんの成長やお世話の話や、趣味の話など会員の皆さんの多才さを知ることが出来、楽しい時間はあっというまに過ぎてしまいました。

藤田新支部長からは、今後の支部運営方針として、4年後に第60回日本薬剤師会学術大会が福島県郡山市で開催予定であるので、東北6県

及び近隣の支部と合同支部会を開催できないか検討していくこと、また出来る限り年1回お楽しみの食事会を催すことを発表しました。合同支部会の開催については、ぜひKP会の皆様のご支援を頂ければ幸甚です。

最後になりましたが、これまで支部をまとめて頂きました竹石支部長はじめ役員、会員の皆様に心より感謝申し上げます。健康に気を付けて、皆様との再会を心待ちにしております。

藤田(74) 記



新潟 2024・10・27

東映ホテル

本年度は、新潟薬科大学教授(2018年慶應義塾大学大学院卒)の富永佳子先生をお迎えし、『糖尿病患者に対する食事栄養に関する助言～動機付け面接のエッセンス～』のご講演をお願いいたしました。

出席者からは、「もっと早くお聞きしたかった!」「子育てにも使える理論だね!」「孫育てにも活用だ!」と大きな反響を頂きました。本年度の支部会参加者は17名。もっと多くの支部会員の皆様にお聞きいただき日常業務、子育て等に活かして頂きたいご講演でした。

懇談会では、KP会高橋千佳子会長より現在の大学の様子、今後のKP会のお話、『なごみ』、HPの活用方法等のお話をお聞きし、とても有

意義な時間となりました。また、出席の皆様の近況報告では、様々な趣味をお持ちでキラキラと輝いていらっしゃる会員の皆様から多くのパワーを頂きました。

次年度は、またより多くの会員の皆様にご参加いただき、先輩方のキラキラパワーが繋がれば良いと思っております。

白石(51) 記



都心四区 2024・11・17

全聚徳 六本木店

参加者は24回生から64回生までの14名でした。レストランは北京ダックと飲茶が美味しいところで、ゆったりとした個室で歓談することができました。食事が一段落して森田裕子副会長(支部会会員)から、最近の大学の様子を報告していただき、その後、皆様の近況を伺いました。最近の薬局は薬の入荷に不足が困ることなど、共通の問題の解決方法について情報交換できることに、支部会の意義を感じました。また、24回生の中村明子様は、長く勤務して自分で貯めた財産は子孫に残さず自分が使い尽くしたいとお話。美田を残さずという格言実行で、誰もが健康で楽しく旅行や観劇などで残りの人生を過ごしたいものです。最近の学生の中には成績が優秀だと進路の意味も考えず、高偏差値の大学を受



験しているというお話も心に残りました。27回生の仲間で一番元気な人は、社交ダンスが元気の秘訣だそうです。また、最近大分県のご実家の会社経営を引き継がれた方は、東京一大分間を頻繁に往復されているようで、本日も会の途中で大分へ向かわれました。皆様の活躍のお話を伺って、元気を貰いました。そして最後に、10年以上やらせていただいた支部長を、川本元子さん(49)にバトンタッチすることをお伝えしました。池田(37) 記



城東 2024・10・20

新宿「星のなる木」

ようやく秋の気配を感じるすがすがしい天気のもと、5年ぶりの城東支部会を、江東・江戸川・墨田支部と合同で開催いたしました。

両支部のお声がけから他の支部の同窓生も参加し、同窓会事務局からのご参加も含めまして、総勢24名が新宿に集まりました。

先輩方の現役世代に負けないパワーあふれる近況や、同世代ならではの共感できるお話などを拝聴し、ご出席いただいた皆様全員が「今」を充実して過ごしていらっしゃることを実感いたしました。おいしいお食事とともに和やかな雰囲気のもと、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

支部会は、年齢こそ違えど10代のころに



薬学に興味を持ち、同じ学び舎で過ごした卒業生が、地域という共通点でつながり、集う企画となります。

今年ご参加くださった方は来年も引き続き、今年ご都合がつかなかった方は来年こそぜひ、ご参加ください。

心よりお待ちしております！ 西川(56) 記

江東・江戸川・墨田 2024・10・20

新宿「星のなる木」

2024年6月、初代支部長の蛭田清美様と副支部長の伊熊光子様から役員を引き継ぎ、城東支部のご協力をいただきまして、久しぶりの合同支部会の開催となりました。城東支部所属の中川優子理事、本部からは佐藤淳子監事、そして他支部からも多数ご参集いただき、総勢24名の会合となりました。

会場の「新宿 星のなる木」は、美味しい日本料理と評判もよく、天候にも恵まれ、明るく和やかな雰囲気の中で、会席料理を堪能いたしました。まず、前副支部長をはじめご逝去されました先輩方に黙祷を捧げました。乾杯、支部長挨拶、来賓挨拶、



会計報告と進行し、会員の皆様の近況報告では、丹沢珪子様が米寿の誕生日を迎えるという慶事も重なりました。

皆様のご活躍に励まされ、懐かしさと楽しさの混じり合う2時間となりました。どうもありがとうございます。

次回は、2025年11月の開催予定です。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。宜しく願いいたします。 神崎(56) 川村(56) 記



港・渋谷 2024・11・10

アクアパッツァ 外苑前

11月に入り秋らしくなった第2日曜日、2年前と同じ外苑前のアクアパッツァにて15名のご参加を得て支部会を開催しました。2名の方の初参加がありました。KP会の木原理事からは、KP会の現状・三田会の事・星野尚美記念事業のお話を頂きました。学内への立入が厳しくなったことは、昔を知る者には寂しい限りですが、時代の流れを感じました。

一人一言では、学生時代の部活や修学旅行の話、男女の味わい深い話、現役続行の方・ボランティアの貴重な話・KP会で活躍された話や新たにKP会での活動を開始した初参加の方の話・別の初参加の方からは日本と米国の行き来の中、支部会



に顔を出してみようかなと思った話等々。

お一人お一人の人生を語って頂き、それぞれの方のお話が興味深く、楽しい時間でした。

最後に次回の支部会の時期や内容などご意見を頂きました。今回も先輩方・後輩方から元気を頂き感謝しております。2025年も支部会を無事に開催できる事と、皆様と元気でおいでできることを楽しみにしております。 中村(46) 記

世田谷 2024・10・6

オークラレストラン スカイキャロット

三軒茶屋のレストランオークラで、長かったコロナ禍を経て、22名の出席者をお迎えしての開催です。

講演会では、医薬品医療機器総合機構でご活躍中の佐藤淳子先生(56回生)より、医薬品領域における最近の話題について講演を頂け、質疑応答では積極的、また多角的な質問もあり、有意義な時間となりました。その後の食事会ではKP会副会長森田裕子先生(45回生)をお迎えし、KP会の幅広い活動についてお聞きすることが出来、続いて長年支部長を努めておられた木村都先生(24回生)より乾杯のご挨拶・音頭をとって頂きました。また、若い方からの



ご挨拶では、同窓生の活躍を改めて実感し、年代を超えた交流に支部会の温かさも感じることが出来ました。そして「実は私も卒業生で、思わず懐かしくてお声をかけてしまいました。」と言われた通りがかりの方の笑顔に、またメールに寄せられた「中々叶わない出席への思い」など、支部会の存在を思わずにはられませんでした。最後に次回のお約束をし、無事、閉会となりました。田中(46) 新村(46) 中道(46) 記



大田・品川・目黒 2024・7・7

日本料理ひのや

都立大学駅近くの「日本料理ひのや」にて、開催いたしました。当日は、猛暑厳しき日でしたが、11回生から88回生まで、25名の出席をいただきました。

冒頭、KP会の高橋千佳子会長から、「支部会活動により先輩、後輩の親交を深めることが、KP会全体の活動の活性化にとって重要である」旨のご挨拶をいただきました。

今年百歳になられた11回生の浅井静子様へ乾杯のご発声とご挨拶をいただき、出席者一同パワーをいただきました。美味しいお食事をいただきながら歓談をいたしました。また、美容ボランティアの養成をしていらっしゃる河西修子様によるハンドケアのミニ講習会を開催し、「ハンドケアの温もりは言葉以上に心を通わせます」とのお話や、ストレスや頭痛等に有効なツボを教えてくださいました。

当日は七夕でしたので、皆様に、短冊に願い

事を書いていただいたところ、若返りたい、海外旅行に行きたい、定年になったら薬剤師の仕事がしたいと思い月2回の研修をしているなどの願い事が発表され、自己紹介も含めて若い方に現在の仕事等を話してもらい馴染んでいただけたので、今後の支部会参加の契機になったのではないかと思います。

楽しいひと時はあっという間に過ぎ、最後に、全員で記念写真を撮り、次回またお会いできることを楽しみに散会しました。古川(41) 記



杉並 2024・10・20

旭鮎総本店 ルミネ荻窪店

秋らしい穏やかな日曜日の昼下がり、23回生から71回生までの同窓生10名が集まりました。

KP会本部より参加いただいた市川理事から母校の様子をうかがった後、おいしい寿司に舌鼓を打ちながら、自己紹介を兼ねてそれぞれの近況を話していきました。

卒業から歳月が経ちそれぞれ過ごした時代は違いますが、今日集まったみなさんは厳しい授業と実験に追われた学生時代を乗り越えた“仲間”です。

生薬の話や実験の話、卒業研究の思い出や苦しんだ試験の話などなど、久しぶりに大学時代の思い出話に花が咲きました。

今は三田会の様々な活動に積極的に参加されている方、地域の活動に力を入れている方、薬剤師として日々患者さんと向き合っている方…とにかくみなさん朗らかで活動的！

お互いに良い刺激を受けてあっという間の楽しい2時間が終了しました。会をセッティングしてくださった塚原さんと勝呂さん、ありがとうございました。

参加者：岩崎(23) 安楽(26) 下重(30) 中村(34) 竹口(37) 松尾(43) 塚原(50) 中嶋(54) 柳葉(63) 勝呂(71)

中嶋(54) 記



練馬・豊島 2024・11・10

ブラッスリー ラ・ムジカ

目白にあるフレンチレストランにて、2024年度の支部会を開催しました。今回は高橋千佳子会長が参加してくださり、最近のKP会の動向や地方のKP会の様子などをお話しいただきました。現在はキャンパス内に入るために事前申請で許可が必要になっていることなど、驚いたこともありました。気軽に、近くに来たから立ち寄って行こう、というのができなくなったということなんですね。

その後、会員の皆さんの近況報告があり、薬剤師ではなくテレビ局で活躍されている方、引退して悠々自適な生活を送っている方、ご家族の介護のために奔走している方など卒業後の進路や生活は様々です。

また、仕事の他にもそれぞれの趣味の話や、

日々の息抜きで満喫されていたりするお話も伺えて、楽しいひと時を過ごしました。

コロナ禍も落ち着いてきました。美味しい食事と共に、縦横のつながりで情報を共有し合える支部会に、今後も多くの方々のご参加をお待ちしています。

ナヤズィ(54) 記



板橋・北 2024・6・9

ホテルメトロポリタン池袋 桂林

板橋・北支部会は毎年6月の第2日曜日を定例日とし池袋にて開催しています。

昨年はコロナ後で恐る恐るの開催となり参加者が少なかったのですが、今回は常連の懐かしいお顔、母娘での初参加の方、他支部から参加の方と賑やかな会になりました。当支部所属の高橋KP会会長からこの一年のKP会の様々なイベントの様子を詳しくお聞きすることが出来ました。中でも「卒後50年の集い」のお話では、“すでに参加して楽しかった”“そろそろ該当回生なので招待状が来るのを楽しみにしている”などの声があがっていました。

近況報告では80歳過ぎても管理薬剤師しています、50歳過ぎで初めて調剤薬局勤務を始めましたという職場での

様子をお聞きしたり。薬局経営の方からは板橋・北区の医療事情などを、また地域の生活お得情報も色々出て、あつという間に会食の2時間が過ぎてしまいました。今回残念ながら参加できなかった方々からも近況報告や「来年は出席します」の返信をたくさん頂いておりました。この誌面を借りて御礼申し上げます。次回はお会いできますよう楽しみにしています。次回幹事は江上様(43)、菅沼様(47)です。

梅田(44) 記



山梨 2024・12・8

リストランテ パローロ

甲府駅北口、大手門芝生を見渡せるイタリアンレストランで開催しました。今回は山梨にルーツがある高橋千佳子会長が参加下さり、この10年間のKP会の改革、現状、そして未来についてお話しいただき、そのご苦勞に地域の同窓生からも感謝の声が聴かれました。

今年は、薬剤学教室の助手さんをされていた小股さんが南アルプスに移住してきたとのことで参加して下さり、懐かしい面影に懐かしいお話し嬉しかったです。また山梨大学医学部微生物教室に在籍し、母校で免疫学を講義され、山梨同窓会復活に尽力された加賀谷けいこ先生が東京から参加され、卒論でお世話になった長田さん、武井さんも再会に感激し、東京から参加の川村さん、

金光さんが華をそえてくださり同級生がそろいました。地域では仕事で助け合い、親戚だったのよ、デラぶどう栽培しているの、家族の介護大変ね、などなどいつのまにか楽しかった大学時代のようにもどり、束の間の賑やかな華やいだ時間でした。閉会の挨拶では、伊東さんが家族の医療受診での心の寄り添いなど話され、これからの薬剤師の心に響きました。参加していただいたみなさんに感謝申し上げます。

中村(53) 記



長野 2024・12・1

ホテルブエナビスタ 聖紫花

コロナ禍でここ数年支部会を開催してきませんでした。久しぶりに皆様にお会いできて、いろいろなお話を聞くことができました。高橋KP会会長の御参加もいただき、自己紹介や近況報告をしていただく中で印象的だったのは、薬剤師としての仕事以外に趣味や才能を活かして生活を豊かにしている話をきくことができたことでした。また、学生時代に大井寮や高輪寮で寮生活をしていた会員の話はとても楽しそうで学生時代に戻ったような気がしました。先輩方からは湯の丸ロッジの話もお聞きすることができ懐かしく思い出されました。また支部会と同時に学年会を計画した会員もあってそれもいい方法だなと感心いたしました。欠席の連絡をいただいた会員の中には自身の体調が悪いとか、親の介護で出席できないという返信もありました。また

No.75の「なごみ」の表紙の「オオワシの絵」を描かれた画家の片田好美様からは画集をいただき、皆で回覧してみさせていただきました。

参加していただいた皆様ありがとうございます。またお会いできる日を楽しみにしています。 宮下(38) 記



関西合同 2024・11・10

ホテルグランヴィア大阪

大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山の関西6府県の合同支部会を、今年は大阪支部の主催で開催しました。22回生から78回生の18名が参加、森田副会長を交えて近況を語りあう、とても和やかな楽しい会となりました。若い現役の方々からは仕事の話、リタイヤされた方々からは、日々の生活・趣味や旅行・健康管理の話等、盛り沢山のお話。特に年長のお二人はとてもお話上手で、皆様沢山の元気パワーをいただきました!!

集合写真撮影の後は、可能な範囲でLINEの交換を行い、写真の送付と来年の合同支部会での再会をお約束しました。

来年2025年は、10月12、13日に、京都国際会議場にて日本薬剤師会学術大会が開催

されるため、関西合同支部会もそれに合わせて、2025年10月12日(土)18:30~「ホテルグランヴィア京都」にて開催いたします。全国から京都の学術大会に来られる同窓生の方も、是非関西合同支部会へご参加いただけたらと思っています。お待ちしております!! 森岡(46) 記



山口 2024・10・27

山口グランドホテル

県中央部の山口グランドホテルにて、5年ぶりに開催しましたが、わずか5名の参加となりました。しかしながらアットホームな雰囲気でお話することができ、和やかな雰囲気の会となりました。

薬局経営者、薬局を引退された方、企業で管理薬剤師、学校薬剤師、大学教員など、それぞれの職種が異なり、改めて薬剤師の職種の幅広さを感じる機会となりました。また、前学長の望月正隆先生が新たな薬学部のために6年間、山口県で過ごされ山口東京理科大学学長として第1期生を送り出し、先日無事に東京へ戻られた話も話題に上がりました。改めて大学同窓

でのつながりで出会える交流の大切さを感じています。

皆さん、次回はぜひ足を運んでください。お待ちしております。

写真左から、金川(70) 小林(55) 為近(30)
吉川(37) 清水(68)

小林(55) 記



福岡 2024・10・6

梅の花 天神店

2024年度の福岡支部会は、福岡市内にて開催いたしました。13回生の宮崎支部会員（江藤奈保様）も飛び入り参加し、18名で楽しいひと時を過ごしました。

今回の特記すべきことは、73回生の岡崎史泰氏が初参加されたこと。同世代に輪を広げたいとの頼もしい発言がありました。

支部会総会議題として、1) 5月開催の支部長懇談会報告、2) 北九州三田会副会長職についての相談、3) 昨年度の会計報告と繰り越し金の今後の取り扱いについて等が挙げられ大いに協議出来ました。

総会の後は、前福岡支部長の39回生吉富富美子様の乾杯の挨拶で始まり、豆腐料理を賞味しながら各自の自己紹介に移りました。今回も39回生5名が最多参加年代で大いに場を盛り上げていました。最後に木原紀子理事よりKP会事務局報告がなされました。理事におかれましては日帰り任務でお疲れ様で

した。

福岡支部会は現在、正会員A51名、正会員B2名、正会員C26名の総勢79名です。今回は、近況報告を兼ねた欠席通知が、Googleフォームに併せて21名分届きました。返信いただき御礼申し上げます。この紙面にて御礼と共にKP会福岡支部の報告とさせていただきます。

2025年度は、筑後地区にて52回生の相良美佐様・澁谷さと子様のペア幹事で企画されます。今後も多くの同窓生に参加いただき質の高い有意義な情報交換会が継続して出来るようによりしくお願い申し上げます。 田原(45) 記



佐賀 2024・9・15

レストラン&カフェ OLY

前任の福地先生(28回生)時代に、一度佐賀市内で支部会を開催して以来です。

先年全国支部長会に招待して頂いた時、全国の支部会の活動報告を伺い、佐賀もなんとかしなくてはと焦りにも似た気持ちになりました。しかし、立案から開催まで1人ではとてもとてと不安に思っていた時、長崎支部長の高尾先生(52回生)から、一度合同でしませんかとお誘い頂き、LINEでやり取りをしながら佐賀県武雄市で合同支部会開催の運びとなりました。高尾先生のお声がけがなかったら、まだ開催で

きていなかったかもしれません。

佐賀支部会員11名の方に、長期間のご無沙汰のお詫びと支部会開催のご案内を差し上げましたが、残念ながら皆さんご欠席(涙)。今まで活動していなかったのもそれは仕方のないことですが、それでもほとんどの方が近況報告を書いてくださいました。

来年は佐世保市で開催予定です。高齢化もあり地方あるあるで車がないとどこに行くにも不便ですが、皆様との交流を楽しみにしております。

今後、長崎佐賀合同支部ということも考えていきたいと思っております。会の様子や写真は高尾先生が書いてくださっていますので、そちらをどうぞご覧ください。 渡辺(42) 記



長崎 2024・9・15

レストラン&カフェ OLY

本年度の長崎支部会は、9月に入っても猛暑が続く中、佐賀県武雄市において佐賀支部会と合同支部会を開催しました。

本部から森田副会長をお迎えして総勢9名の和やかな会となりました。

森田副会長よりKP会の現況、現在の薬学部学生の様子などの説明があり、母校の発展に感銘を受け、その後出席者各人の近況報告や、懐

かしい学生時代のお話などで楽しい食事会となりました。18回生 中島様の共薬学生時代のお話は大変興味深く、いつまでもお元気なお姿に、皆が元気を頂き嬉しく思いました。

会員の高齢化と減少傾向に伴い、今後も佐賀支部会と合同支部会として継続していく方向で検討してまいります。

次回は、佐世保市で開催いたします。今回参加出来なかった皆様のご出席を、心よりお待ちしております。 高尾(52) 記



佐賀・長崎合同支部会

沖縄 2024・11・17

ホテルJALシティ那覇 レストランボナペティ

11月でも残暑残る沖縄。前支部長の崎山さんが名誉支部長で表彰され、新支部長のもと昨年につき開催。崎山さんには「世代を超えてバトンをつないでこられた功績」に支部から手作り感謝状を手渡しました。

昨年の支部会報告に、卒論指導頂いたお名前を見て、とても懐かしく出席を検討していたところ支部長よりお電話を頂き参加。残念ながらタイミングが合わず再会は叶いませんでしたが、偶然に会える機会がある不思議さを感じました。

会員（23名）の8割から返事があり、今回は無理だが次回は参加するや、とても開催を楽しみにしている方もいました。今回少人数の参加でしたが、和やかな雰囲気、沖縄の薬剤師の状況など仕事に関する情報や大学の話など多岐にわたる内容で歓談しました。先輩方の話とは

とても興味深い事柄ばかり。中でも其々の時代の芝公園周辺の様子や、在学中に東京タワーの建設が始まり、その過程を直接見ながら学生生活を送り竣工の瞬間を迎えられたというお話。映画「ALWAYS三丁目の夕日」の時代をリアルに過ごされたと言うことにノスタルジックな気分になりました。支部会参加で、様々な世代の交流はとても貴重な経験となり、是非次回は、皆さんご参加ください。 加藤(58) 立岡(40)



支部会



2024年度名誉支部長記を贈呈された方々

安藤一子(大田・品川・目黒 34回生)、池田正子(都心四区 37回生)、
南 恵美子(静岡 38回生)、宮下茂代(長野 38回生)、羽田真理子(千葉第二 43回生)、
木原顕子(千葉第一 44回生)、竹石智美(福島 50回生)



名誉支部長とは、支部長として多年にわたり支部会活動に功績のあった方へ、退任後に授与される称号です。支部長として10年以上在任された、または10年に満たなくとも功績が特に顕著であった方に授与されます。

健やかさの追求と未来の創造

すべての方の願いである健康のために
さまざまな変化に対応して
価値あるサービスや商品を
ベストを尽くして提供していくこと。
そのためにタカゾノは存在しています。



2024年9月
New Release!

一包化から監査まで、この1台で完結

全自動錠剤包装機

錠剤監査支援装置

Eser × Pre-VIEW

製品紹介動画は
こちらから→



大きさ・色に加え刻印も照合可能

目チェック	● ● ● ● ● ●					
カメラ確認	● ● ● ● ● ●					
分装確認用画面	1	2	3	4	5	6
カメラ画像	●	●	●	●	●	●
コペラリカブテル100mg・1	●	●	●	●	●	●
コペラリカブテル100mg・2	●	●	●	●	●	●
トラネキサム錠250mg「YD」・1	●	●	●	●	●	●
トラネキサム錠250mg「YD」・2	●	●	●	●	●	●
ロゼリオン錠60mg	●	●	●	●	●	●



高精度のカメラを内蔵した撮像モジュールは、薬剤の大きさや色だけでなく、刻印まで見逃さずに撮影。その画像をもとにAIが照合・識別を行い、種類と数を識別します。

両面撮影で薬剤を見逃さず識別



高精度カメラは、ターンテーブル上部と下部の2箇所に配置。表面・裏面で薬剤を撮影し、同時に印字・刻印の照合・識別処理を行います。また、識別された薬剤は、表裏や上下がそろえられた状態でPCに表示されます。

業界トップクラスの分包速度を誇る全自動錠剤包装機 Eser に、一包化監査機能が新たに加わりました。高精度カメラと AI が薬剤を瞬時に識別し、担当者の心理的不安が大きかった一包化監査業務までをサポート。
『一包化 × 監査機能』を備えた Eser が、「安心かつ効率的に」その先にある「患者さまの笑顔」へと導きます。

株式会社 **タカゾノ**

<URL> <https://www.takazono.co.jp>

営業本部 〒104-0054 東京都中央区勝どき 3 丁目 12 番 1 号 FOREFRONT TOWER 6 階 TEL 03(3533)2130
営業所 / 札幌・釧路・旭川・青森・盛岡・仙台・秋田・郡山・北関東・宇都宮・前橋・さいたま・千葉・東京・多摩・横浜・新潟・金沢・長野・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・山口・高松・松山・北九州・福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

東京本社 〒104-0054 東京都中央区勝どき 3 丁目 12 番 1 号 FOREFRONT TOWER 6 階 TEL 03(3533)2110 (代)
大阪本社 〒571-0038 大阪府門真市柳田町 4 番 17 号 TEL 06(6903)2000 (代)

薬学ゼミナール

夢を叶えるために 薬ゼミがある



薬学ゼミナールでは、45年以上の実績に裏付けられた
たくさんのノウハウがつまったカリキュラムと、
温かさで厳しさをサポートする講師陣が、
一人でも多くの意識高い薬剤師の輩出を目指します。
人と人、心と心のふれあいを大切にできる薬剤師を育成するために、
私たちは学生一人ひとりに向き合います。

学校法人医学アカデミーグループ
薬剤師国家試験対策予備校 **薬学ゼミナール**

<https://www.yakuzemi.ac.jp>  0120-77-8903

中途採用 募集中

タカサの特徴

- ・訪問診療同行率80%
- ・在宅医療専門店11店舗出店
- ・千葉県北西部～都内出店予定
- ・病院出身者も多数活躍中！

店舗数

千葉県

53 店舗

全54店舗の
調剤薬局を展開

東京都

1 店舗

オンライン面談

まずは、
タカサについて
お話をさせてください！



※オンライン面談をご希望の方は
QRコードを読み取りご予約下さい！

問い合わせ

〒290-0055
千葉県市原市五井東1-1-1

TEL : 080-9422-4123 (阿部)
mail : jinji@takasa.co.jp

TaKaSa
CORPORATION

理事会より

代議員の役割について

代議員は、正会員の中より卒業および修了年次別の正会員の互選により決定されます。KP会社員総会（総会）では、具体的には次の事項を決議します。

《一般社団法人慶應義塾大学薬学部KP会定款第18条》

①会員の除名、②理事、監事の選任および解任、③定款の変更、④各事業年度の事業計画お

よび予算の承認、⑤年会費・終身会費の決定、⑥理事会において社員総会に付議した事項、⑦合併および解散に関する事項

代議員は、総会に出席することのほか、総会で得た情報を各年次の会員に伝達していただくこととなります。

代議員名簿（2025年6月現在）

回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名
11	浅井 静子	41	永井 総子 古川 幸子	58	緒方 育子 宮崎 倫子	75	上田 康弘(2009卒) 金 刺 良 祐(2009卒)
15	北井 久子	42	五十嵐 智子 大脇 久子	59	中島 かおり 吉田 美華	76	栗原 徹(2010科卒) 清水 賢一(2010科卒)
17	佐々木 澄子	43	今野 三恵子 羽田 真理子	60	小林 真紀子 齊藤 綾子	77	小坂 佳裕(2011科卒) 橋本 朱里(2011科卒)
25	岩本 光子 木戸 光	44	奈良 真理子 山本 純子	61	大友 まさ恵 小島 智美	78	北川原 弓奈(2012卒) 徳永 あゆみ(2012卒)
26	安楽 直代 大久保 サチ子	45	伊藤 佳子 藤本 和子	62	原田 由紀子 廣 仲 紀子	79	青江 和弥(2013卒) 安野 拓実(2013卒)
27	松田 迪子	46	古田 久美子 村木 紀子	63	落合 みおり 小園 麗子	80	大平 悠人(2014卒) 松上 泰典(2012科卒)
29	鶴川 マリ子 千葉 百子	47	渋谷 伸子 渡邊 和枝	64	加文字 理江 國東 祐子	81	柿本 航哉(2015卒) 山本 航隼也(2013科卒)
30	下重 光子	48	今野 亜子 野田 玲子	65	大原 久美子 大神 頭 茜	82	篠原 裕美(2016卒) 穂積 暢史(2014科卒)
31	清水 和子	49	大藤 詠子 原 芳江	66	廣瀬 絢菜子 三澤 雅子	83	丸山 翔梧(2017卒) 宮崎 将太(2015科卒)
32	大島 由美子 座安 直子	50	吉田 敦子	67	後藤 直美 中村 千賀子	84	田中 大河(2016科卒) 生津 はるか(2018卒)
33	田村 久子 真鍋 昌代	51	金井 美穂 酒井 和恵	68	手塚 淑人	85	難波 祐樹(2019卒) 西本 泰平(2017科卒)
34	小林 礼子 関 幸子	52	青木 紀恵子 千葉 靖子	69	寺山 和利 中澤 洋介	86	佐藤 稜(2018科卒) 中込 愛(2020卒)
35	小野 眞知子 桑名 佐紀枝	53	隈部 恭子 松下 純子	70	飯塚 元気 嶋田 沙織	87	枝常 吾郎(2019科卒) 土屋 智佑(2021卒)
36	大嶋 妙子 大渡 眞理子	54	飯田 淳子 海老原 公代	71	金澤 将史 小林 真	88	山崎 開智(2020科卒) 吉村 悠平(2022卒)
37	猿渡 佐代子 渡辺 みどり	55	黒崎 江美 五関 美由起	72	西野 裕子 西野 優希	89	稲田 衣紗(2023卒) 福井 一玄(2023卒)
38	品川 庸子 三原 千穂子	56	古家 直子 村上 眞美絵	73	白木 聡志 古澤 純一	90	工野 由美香(2024卒) 斎藤 愛加(2024卒)
39	小田 泰子 小野 恵子	57	高山 のぞみ 高田 恵子	74	石川 真規 小林 浩規	91	津田 祐之介(2025科卒) 米田 慶二郎(2025卒)
40	黒崎 美佐子 清水 靖子						

※KP会実施細則第3条2項により、ご辞退された該当の代議員は不掲載

支部長名簿

支部名	回生	支 部 長	支部名	回生	支 部 長	支部名	回生	支 部 長
北海道	56	時野香里	長野	69	石坂匡史	大分	78	八木真布
青森	45	宮形恭子	静岡	60	横内葉子	宮崎	51	山本万須美
岩手	50	中館貴枝子	東海	51	河合孝枝	鹿児島	40	三浦恵理子
宮城	42	笠原純子	滋賀	42	功刀桂子	沖縄	40	立岡雅子
秋田	55	宮田香	京都	47	大谷悦子	(東京)		
山形	39	高橋了	大阪	46	森岡圭子	都心四区	49	川本元子
福島	74	藤田元	兵庫	45	大矢順子	城東	56	西川恵子
茨城	47	小林雅枝	奈良	43	中尾悦子	江東・江戸	56	神崎美佐子
栃木	42	村山雅子	和歌山	52	吉田伸子	川・墨田	46	村木紀子
群馬	42	濱田えり子	島根・鳥取	45	疋野由美子	港・渋谷	46	中道眞理
埼玉東	47	渡邊和枝	岡山	53	田中芳	世田谷	46	山本純子
埼玉西	52	松谷美樹	広島	38	入江孝子	大田・品	44	塚原彩子
千葉第一	52	林哲子	山口	55	小林晃子	川・目黒	50	尾崎かをり
千葉第二	52	鈴木乃里子	徳島	53	大久保佐知子	杉並	46	本多祥子
神奈川第一	49	雁瀬美佐	香川	—	—	練馬・豊島	42	高林晴美
神奈川第二	42	加藤千津子	愛媛	—	—	中野・新宿	49	宇山和江
新潟	39	菅絹子	高知	54	筒井由佳	板橋・北	45	坂本永子
富山	38	杉野由紀子	福岡	45	田原雅子	武蔵野	44	川端弘子
石川	41	安田由美子	佐賀	42	渡辺喜美江	多摩	48	小山博子
福井	49	池端美治	長崎	52	高尾絵美	多摩南部	45	
山梨	53	中村由喜	熊本	45	浦嶋恵子	西武		

2025年6月現在

第9期 理事・監事紹介

2025年5月31日(土)に行われた定時社員総会において、第9期理事・監事(任期2027年5月末日)が承認されました。直ちに別室において理事会が開催され、森田裕子氏が代表理事(会長)に選ばれました。6月11日(水)の理事会において副会長2名が選定されました。

会 長：森田 裕子(45)

副会長：佐藤 淳子(56) 市川 大樹(68)

理 事：辻村 朱美(46) 中野 里佳(46) 大久保淑子(51) 荻原 早苗(52)

木原 紀子(52) 中川 優子(52) 大島三千世(60) 三輪 直美(60)

多胡めぐみ(64) 小林 真(71) 内海 光貴(80) 芳賀 勇太(84)

監 事：高橋千佳子(38) 粕谷美南子(48)



2024 年度理事会報告

- 4 月 ・ 2023年度決算について
 - ・ 総会について
 - ・ 支部長懇談会 議題について
 - ・ 懇親会について
- 5 月 ・ 2024年度予算案について
 - ・ 5/25(土)のスケジュール・役割分担の確認
 - ・ 支部長懇談会について
 - ・ パワーポイントを用いて総会リハーサル
 - ・ 今後の連合三田会実行委員について
- 6 月 ・ 総会・支部長懇談会の総括、来年度の総会日程
 - ・ 春の研修会(6/22)の役割分担
 - ・ 連合三田会大会 KP会交流ルームについて
 - ・ 監事の定年
- 7 月 ・ 第1四半期会計報告
 - ・ 福島塾(7/21)の役割分担
 - ・ 奨励賞募集要項の確認
 - ・ 支部会について
 - ・ 監事の定年について(継続審議)
 - ・ 個人情報の取り扱いについて
- 9 月 ・ 学術大会合同支部会(9/22埼玉)について
 - ・ 福島塾(10/6)役割分担
 - ・ 「なごみ」ペーパーレス化、執筆者への発送について
 - ・ 監事の定年について(継続審議)
- 10月 ・ 中間監査報告
 - ・ 会員以外の研修会等の希望者の対応について
 - ・ 理事・監事の定年について(継続審議)
- 11月 ・ 秋の研修会 役割分担について
 - ・ 「なごみ」について
 - ・ 理事・監事選考委員会報告
 - ・ 理事・監事の定年について(継続審議)
- 12月 ・ 星野尚美記念事業委員会 報告
 - ・ 監事の定年について(継続審議)開票
 - ・ 卒後60年超の代議員の資格について
- 1 月 ・ 第3四半期収支報告
 - ・ 40回生「卒後50年の集い」(3/9)役割分担・スケジュールについて
 - ・ 定款変更の確認
 - ・ 卒後60年超の代議員の資格について(継続審議)
- 2 月 ・ 2025年度予算案について
 - ・ 卒後50年の集い(3/9)役割分担等 確認
 - ・ 星野尚美記念薬学研究・活動助成金、奨励賞について
 - ・ 総会当日の星野助成金・奨励賞 発表方法等について
 - ・ 業務監査について
- 3 月 ・ 「卒後50年の集い」報告と反省
 - ・ 総会スケジュールについて
 - ・ 春の研修会日程・講師について
 - ・ 2025年度予算案について
 - ・ 理事・監事選考委員会より報告
 - ・ 細則の変更について



維持会費（運営協力費）とは

維持会費とは、「年会費・終身会費以外にKP会の財務基盤拡充に資するために任意でお納めいただく会費」として、1993年度の総会決議を経て導入されました。KP会は、「年会費または終身会費」と任意でお納めいただく「維持会費（運営協力費）」により、運営されております。会の更なる発展のため、より多くの会員の皆様から維持会費（運営協力費）へのご協力を賜りたいと存じます。引き続きご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。なお当会は一般社団法人のため税制上の寄付金控除の対象とはならず、優遇措置はございませんのでご了承ください。

維持会費（運営協力費）納入方法のご案内

- 一口2,000円を目安として、何口でも受け付けております（口数・金額にかかわらずお受けいたします）
- 会員個人からだけでなく、支部会や学年会、クラブ、サークルなど団体での納入も受け付けております
- 納入方法は以下の3通りがあります
 - ①指定の振込用紙での振り込み：同窓会誌「なごみ」に同封される「振込用紙」にて納入をお願いします
 - ②郵便振替口座への振り込み：

銀行名：ゆうちょ銀行	支店名：〇一九(ゼロイチキュウ)支店	種類：当座
口座番号：0781443	加入者名：慶應義塾大学薬学部KP会	
 - ③現金納入：KP会事務局またはKP会のイベント等でも受付しております

----- 感謝状を贈呈した方(10回以上納めてくださった方々) -----

近藤 武子(31回生) 渡辺 あい子(45回生) 川手 由里子(54回生)

----- 維持会費を納めてくださった方々 -----

寄付金 100,000円 故 清水訓子(38回生) (ご家族様より寄付)	今 すま子(11回生) 佐藤 保子(14回生) 河内 タカ(17回生) 相賀 静子(18A回生) 平木 登茂(21回生) 岩崎 静江(23回生) 雨宮 正子(25回生) 鈴木 典子(25回生) 緑川 敏子(25回生) 岩野 照美(26回生) 尾形 美樹子(27回生) 大畠 美耶子(28回生) 鵜川 マリ子(29回生) 小泉 節子(29回生) 小笹 鋭江(30回生) 下重 光子(30回生) 中山 典子(30回生) 新井 紘子(31回生) 近藤 武子(31回生) 高橋 幸子(36回生) 大屋 陽子(39回生) 斎藤 芳子(40回生) 高橋 洋子(40回生) 長町 明子(40回生) 二茅 洋子(40回生) 水内 真知子(40回生)	森田 裕子(45回生) 齋藤 秀子(46回生) 野田 玲子(48回生) 高林 晴美(49回生) 石川 秀美(52回生) 迎 まちゑ(58回生)	上原 好子(40回生) 金野 良子(40回生) 佐々木 久美子(40回生) 高戸 道子(40回生) 立岡 雅子(40回生) 田中 清枝(40回生) 鶴岡 和佳子(40回生) 丹羽 多佳子(40回生) 板東 てる(40回生) 増田 玲子(40回生) 和久井 純代(40回生) 大平 千世(42回生) 鈴木 弘子(42回生) 山室 郁子(42回生) 東 良子(42回生) 金澤 秀子(44回生) 乾 伸子(45回生) 大江 久恵(45回生) 渡辺 あい子(45回生) 佐野 温子(46回生) 松尾 智子(48回生) 川手 由里子(54回生) 野澤 藤江(57回生) 佐藤 航(81回生) 佐野 邦大(89回生) 匿名希望
維持会費 50,000円 土地 素子(25回生) 小川 芳子(27回生) 高橋 千佳子(38回生)	10,000円未満 世田谷支部 棟居 あい子(17回生) 毛利 幸代(20回生) 上田 伸古(24回生) 大塚 純子(25回生) 長堀 不二代(26回生) 石井 典子(28回生) 渋谷 佐登留(31回生) 中西 久子(33回生) 伊藤 サキミ(34回生) 木暮 喜久子(34回生) 関 幸子(34回生) 小川 琴子(35回生) 仁田 宣子(36回生) 池田 正子(37回生) 井野 桂子(37回生) 久住 峰子(38回生) 米本 文子(38回生) 原 英子(39回生)		
37,655円 33回生			
30,000円 前田久代オースチン(23回生) 石澤 八重子(43回生)			
21,000円 福島 紀子(39回生)			
20,000円 国府田 美恵子(24回生) 李 王蘭(33回生) 河本 桂子(35回生) 原 和子(38回生) 今野 三恵子(43回生) 辻村 朱美(46回生) 詫摩 裕子(47回生)			
10,000円 松南 治代(10回生)			

(2025年3月31日現在)(敬称略)

KP会事務局 開局日 月・火・水・金 10時から16時

メール：info@kp-dousoukai.com

TEL：03-5400-2688 (10:00～16:00) FAX：03-5472-0364

◇登録のお名前・ご住所・勤務先等の変更は、速やかにご連絡ください。

巻末の変更届（FAX用）または下記のQRコードからKP会ホームページの「登録変更フォーム」をご利用ください。メールアドレス登録（変更）もこちらからお願いします。

◇「支部会」「学年会」を開催される場合は、下記のQRコードからお申込みください。

開催に関してお困りの場合は、お気軽に事務局にご相談ください。有料にて印刷代行もいたします。

◇春・秋の研修会や福島塾はオンラインセミナーとして継続します。

開催の詳細はKP会ホームページをご確認ください。またメールアドレスをご登録いただければ、研修会等の開催案内メールを送信しますので、ぜひこちらもご利用ください。

◇KP会事務局にお越しの際は、必ず事前にご連絡ください。

薬学部の入構セキュリティが厳しくなり、2024年5月から出入り口は常時施錠されております。



KP会HP



登録情報変更フォーム



支部会・学年会

アンケートご協力のお願い

同窓会誌「なごみ」をお読み頂きありがとうございます。より良い同窓会誌となるよう努め、内容の向上を図るため、皆さまからのご意見・ご感想が重要と考えております。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。下記のQRコードから回答いただけます。



アンケートWeb版

なごみ

2025年 No.76

令和7年7月10日 発行

発行兼編集責任者：森田 裕子

発行所：一般社団法人 慶應義塾大学薬学部KP会
〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30

TEL 03-5400-2688

FAX 03-5472-0364

メール nagomihenshu@kp-dousoukai.com

〈担当理事〉 森田 裕子(45) 粕谷美南子(48)

〈編集委員〉 栗山 初江(42) 岡田真里枝(44)

中野 里佳(46) 高林 晴美(49)

石川 秀美(52)

印刷：山浦印刷株式会社

禁無断転載 非売品 会員頒布

送信 年 月 日

変更届

(FAX送信先：03-5472-0364)

慶應義塾大学薬学部KP会



☆ホームページからも変更が可能です

※必ずご記入ください

氏名※		フリガナ※	
会員番号/卒回/卒業年 のいずれかをご記入ください			
/ 回生 / (昭・平・令・西暦) 年卒			
メールアドレス			
このメールアドレスに研修会等のお知らせを希望されますか			
<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない			

ここからは変更後の内容をご記入ください

氏名		フリガナ	
住所	〒 都 道 府 県		
電話番号	—	—	固定・携帯
	—	—	FAX番号
勤務先 名称			

ご記入いただいた個人情報は、KP会よりご連絡させていただく場合にのみ使用し、その他の目的には一切使用いたしません。

切り取り



浅間山、ひとりじめ

贅を尽くした
極上のひとときをあなたへ

各お部屋にBBQデッキ、シャワールーム、トイレ完備
ドッグラン付き、プライベートサウナ付きのお部屋も...

ドームテント7棟
スイートタイプ6棟



のぞみグランピング&スパ 佐久×軽井沢



味処のぞみ

11:00~15:00(ラストオーダー14:30)
16:30~20:30(ラストオーダー20:00)



ドッグラン

わんちゃん1匹につき、メジャー300円
ビジター400円(税込) ※おひとり様2匹まで



テニスコート

平日 ¥1,100/h・休日 ¥1,650/h
ナイター照明 ¥550/h・レンタル1組 ¥1,100(税込)



BBQテラス

春夏期間限定オープン

無料の送迎バスで、
のぞみサンピア佐久へ
お楽しみください

スパリゾートのぞみサンピア佐久 毎月第3木曜休館
佐久市根岸 3203-2 ☎0267-63-3900



詳しくは
WEBへ

自立型サービス付き高齢者向け住宅



タウンコートのぞみ

浅間山麓の自然の中でゆったりと過ごす・・・
全てが徒歩圏内に揃う街でペットとともに住もう。

小諸市御影
ご入居申込み
受付中!



3か月以上の
短期入所も可

全50室 全室に浴室、トイレ、キッチン
ウォークインクローゼット付き

安心で、自由な暮らしを楽しめる住宅誕生!
介護が必要な方はご相談ください。

随時見学
できます

まずは、お気軽にお問い合わせください。詳しい資料をお送りいたします。 ■代表者/甘利庸子(43回生)

のぞみグループ本部
☎0267-22-9274

〒384-0093 長野県小諸市和田841-7 <http://www.nozomi-g.co.jp/>

◆関連法人 (医)清秀会 (社)福のぞみ福祉会 (株)エスポワール (株)シルバーケアのぞみ (株)のぞみ (一社)海外介護士育成協議会 介護施設協同組合

天然温泉付有料老人ホーム(住宅型 82室) 「ウェルハウスのぞみサンピア」

本館・別館 入居者募集

グループ内の医療法人、社会福祉法人からの医療と介護の連携により、お元気な方には生き生きと、介護の必要な方には最後まで安心して生活していただけますように・・・



【入居資格】

本館一般：自立～
本館介護：要支援2～
別館介護：要介護1～

長野県佐久市「のぞみサンピア佐久」敷地内

◎デイサービスセンター◎ヘルパーステーション 併設
自然に恵まれた13,000坪という広大な敷地にあり、季節を感じ、自然を感じて豊かな生活をしていただけます。

首都圏からのアクセス良好!

鉄道 東京駅から長野新幹線「佐久平駅」

お車 中部横断自動車道「佐久北IC」

信州・佐久・小諸
東京駅から約80分



廃棄の手間や費用をおさえられます。

調剤薬局の不良在庫を解消！



とにかくカンタン、在庫の薬品を送るだけ！

リバイバルドラッグでは調剤薬局で抱える不良在庫を売買できます！

登録もカンタン♪
会費・登録料・送料

ゼロ※
0円

※一部の条件では送料が発生する場合があります。

カセッターが空いて調剤しやすくなった！

ワードストックが有効活用できて嬉しい！



取り扱い対象や詳しい情報はコチラ！



もったいないから始めました。

代表取締役・薬剤師
昭和大学薬学部薬学科 卒業

かばや わたる
蒲谷 亘

薬剤師のわたしは、期限を迎え捨てられる薬品をみて「もったいない」と感じていました。薬剤師なら皆そう感じているのではないかと、協力しあって解決できないかと思い2006年からサービスを開始しました。さあ、みんなでもったいないを減らしましょう。



株式会社リバイバルドラッグ



0120-949-286

受付時間

平日10:00~17:00

